

コンクリートポンプ車 検査・整備基準値表

公益
社団法人

建設荷役車両安全技術協会

まえがき

建設荷役車両による労働災害を防止するため、昭和 52 年に特定自主検査制度が導入されました。

その後、平成 2 年 9 月に労働安全衛生法施行令及び関係法令が改正され、特定自主検査の対象として解体用機械であるブレーカ、コンクリートポンプ車、不整地運搬車及び高所作業車の 4 種類の機械が追加されました。

また、平成 25 年 4 月に労働安全衛生規則が改正され、特自検の対象となる解体用機械として、ブレーカに加え、鉄骨切断機、コンクリート圧砕機及び解体用つかみ機の 3 種類が新たに追加され、同年 7 月から施行されました。

さらに、平成 27 年 7 月には通達によりパイルーオーガーを備えた油圧式くい圧入機と移動式クレーンは一体として「くい打ち機」に該当するとの判断が示され、当該機械の特定自主検査に関する指針が「分離型せん孔機」とともに公示されました。

本書は、厚生労働大臣公示の「定期自主検査指針」における検査結果の判断基準として、必要とされる「検査・整備基準値」を掲載したもので、今般 D 版を発行することとしました。

本書が関係者の間で広く活用されて、特定自主検査が的確に行われることにより、労働災害の防止に寄与することを切望します。

最後に、本書の発行にあたりご尽力いただいた委員の方々に対し、心から感謝の意を表します。

令和 3 年 3 月

公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会
会 長 酒 井 信 介

検査・整備基準値表の利用上の留意事項

今回の改訂にご尽力頂いた委員の方々は次のとおりです。

委 員	安 田 俊 一	極東開発工業株式会社
〃	北 原 誓 太	株式会社岩田商会
〃	中 山 貴 史	日工株式会社
〃	矢 崎 健	株式会社大一・テクノ
〃	池 田 周 五	ブツマイスタージャパン株式会社
〃	川 村 健 二	株式会社シンテック
〃	手代木 高志	株式会社国際建機販売
〃	長谷川 昌弘	有限会社ベトンテック
〃	佐 藤 亮 治	ズームライオン・ジャパン株式会社
原稿提供	須 藤 貴 弘	赤城産業株式会社

事 務 局	赤 池 洋 次	(公社) 建設荷役車両安全技術協会
〃	牛 田 孝 史	〃
〃	佐 口 慶 典	〃

1. 「検査・整備基準値表（以下：本書）」の掲載方法について

- (1) 本書はメーカー毎にまとめて掲載しています。
- (2) メーカー内の掲載は、概ね機械・車輛のタイプ、機体質量などで分類しています。
- (3) 同一製品がO E M（相手先ブランド製造）の供給元と供給先の双方で販売されている場合は、供給元、供給先それぞれのモデル名で掲載しています。

2. 「基準値」の表示方法について

- (1) 機械・車輛の「基準値」は該当する機械・車輛に対して2～4 ページの見開きで表示しています。
- (2) 「基準値」の項目は見開きの左端に表記し同系統の機械・車輛のモデルを順に記載し見開き左ページで収まりきれない場合は右ページへと続きます。
- (3) 見開きページ内に余白が出来ても機械・車輛の系統が異なる機械・車輛は新たな見開きページに表記するため、当該ページは余白のままとします。

3. 収録されている機械・車輛の範囲について

- (1) 本書はコンクリートポンプ車（トラック式のブーム車及び配管車）について掲載しています。
- (2) 本書は平成27年9月以降、令和3年3月末までに日本国内で販売されたモデルを概ね掲載しています。
なお、本書に掲載されていないモデルについては旧版を参照するか販売元へお問い合わせ下さい。

4. 本書の項目の選定について

- (1) 本書は「定期自主検査指針（平成5年12月付 公示16号）」において「メーカーの定める基準値」と表記してある項目を収録してその基準値を数値で表記することを原則としていますが、追加収録する項目の選定及び基準値の表記方法等はメーカーの自主判断委ねています。

5. 本書の項目の表記について

- (1) 「新車のみに適用される基準値」であることを特に表示する場合には、当該基準値の左肩上に☆印を付し、表の脚注に「新車基準値」である旨を表記しています。
- (2) 表内の「単位」の表記は国際単位系である「S I 基本単位」を使用しています。
- (3) 電子制御のエンジン（コモンレール、E F I、E G I等）について検査不可能な項目は「－」と表記しています。
- (4) 検査項目でメーカーが検査不能とした項目は「－」と表記しています。

凡 例

単位は、国際単位系（SI 単位系）に基づく新計量法（平成 4 年 5 月 20 日 法律第 51 号）による。

コンクリートポンプ車 検査・整備基準値表

目 次

主要 S I 単位項目別換算表

項目	A. 力		B. 力のモーメント		C. 圧力		D. 応力			E. 仕事率	
	従来単位	S I 単位	従来単位	S I 単位	従来単位	S I 単位	従来単位	S I 単位		従来単位	S I 単位
単位	kgf	N	kgf・m	N・m	kgf/cm ²	Pa	kgf/mm ²	N/m ²	N/mm ²	PS	kW
換算値	1	9.80665	1	9.80665	1	98066.5	1	9806650	9.80665	1	0.7355
	0.101972	1	0.101972	1	0.000102	1	0.00000101972	1	0.000001	1.3596	1
							0.101972	1000000	1		
記入項目例	牽引力 引張強力 1kgf=9.80665N		締め付けトルク エンジントルク		リリーフ圧力 空気圧 175kgf/cm ² =17.2MPa					エンジン出力 1PS=0.7355kW	

単位の接続語（主要単位）

S I 単位の接続語は、S I 単位の倍数を示す。
（たとえば MP a のMは、1 MP a = 1 × 10⁶ P a = 1,000,000 P a となる。）

名称	記号	単位に乗じる倍数	単位数	名称	記号	単位に乗じる倍	単位数
ギガ	G	1 0 ⁹	1,000,000,000	デシ	d	1 0 ⁻¹	0.1
メガ	M	1 0 ⁶	1,000,000	センチ	c	1 0 ⁻²	0.01
キロ	k	1 0 ³	1,000	ミリ	m	1 0 ⁻³	0.001
ヘクト	h	1 0 ²	100	マイクロ	μ	1 0 ⁻⁶	0.000001
デカ	d a	1 0	10	ナノ	n	1 0 ⁻⁹	0.000000001

株式会社岩田商会	IC-50B-15L～	2
極東開発工業株式会社	PT50-10(11)～	8
	PH20-11～	24
株式会社シンテック	SP-60CB～	40
ズームライオン・ジャパン株式会社	K23X-4Z～	46
株式会社大一・テクノ	DCP-35SL-C～	52
ブツマイスタージャパン株式会社	BSF2107HP～	62
有限会社ベトンテック	ECP28ZX-1611～	76
(エヴァダイム)		
赤城産業株式会社	HCP3Z18～	82

岩田商会

適用範囲		モデル名		IC-50B-15L	IC-55B-18L			
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイズ	スクイズ		
			最大吐出量	m ³ /h	50	55		
			最大吐出圧力	MPa	2.16	2.16		
			700mm最大地上高	m	15	18		
適用号機								
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	—	—			
		ローター回転数	回/min	37	40			
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2200) (—) (50 ± 5)			
	真空ポンプ	回転速度	min ⁻¹	37±3	37±3			
		チェーンのたわみ	mm	15±10	15±10			
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(2200) (—) (50 ± 5)	(2200) (—) (50 ± 5)			
		圧力設定値 (設定値到達時間)	Pa (min)	80 (10以下)	80 (10以下)			
	ブーム装置	シリンダー 自然降下量	圧力降下許容値 (保持時間)	Pa (min)	5.7 (10)	5.7 (10)		
			Vベルトのたわみ	mm	—	—		
			ブーム (1) シリンダー	mm	2以下	2以下		
			ブーム (2) シリンダー	mm	2以下	2以下		
			ブーム (3) シリンダー	mm	2以下	2以下		
☆ブームシリンダー 作動時間		ブーム (4) シリンダー	mm	—	—			
		ブーム (5) シリンダー	mm	—	—			
		(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]			
		ブーム (1) 伸び 縮み	sec sec	30±5 40±5	38±5 45±5			
		ブーム (2) 伸び 縮み	sec sec	20±5 25±5	20±5 25±5			
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	ブーム (3) 伸び 縮み	sec sec	25±5 35±5	25±5 35±5			
		ブーム (4) 伸び 縮み	sec sec	— —	— —			
		ブーム (5) 伸び 縮み	sec sec	— —	— —			
	空圧機	(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(1500) (50 ± 5) (—)	(1500) (50 ± 5) (—)			
		吐出圧力 油圧 水圧 飛距離	MPa MPa m	— 0.17 5	— 0.17 5			
		吐出圧力	MPa	—	—			

☆印：新車基準値を表す（参考値）

コンクリートポンプ車

[illegible]

岩田商会

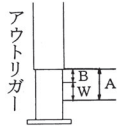
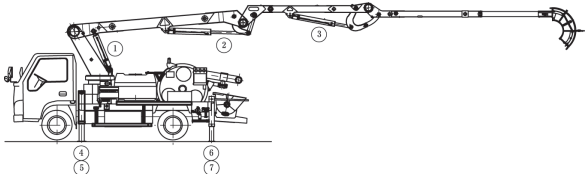
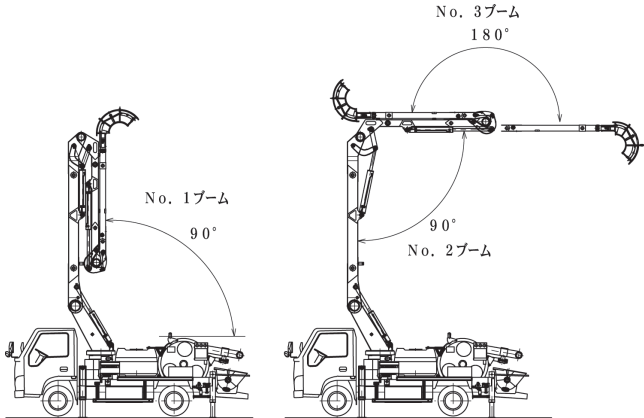
適用範囲		モデル名		IC-50B-15L	IC-55B-18L			
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイズ	スクイズ		
			最大吐出量	m ³ /h	50	55		
			最大吐出圧力	MPa	2.16	2.16		
			ブーム最大地上高	m	15	18		
		適用号機						
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	20.6±0.5	20.6±0.5			
		弁シリンダー油圧	MPa	—	—			
		攪拌モータ油圧	MPa	8.8±0.5	8.8±0.5			
		ブーム油圧	MPa	20.6±0.5	20.6±0.5			
		ACC ガス封入圧力	MPa	—	—			
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)		
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)			
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)			
車体・安全装置	☆旋回ベアリング 取付けボルト の締め付け	外輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	440±20(φ20)	440±20(φ20)			
		内輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	440±20(φ20)	440±20(φ20)			
		旋回ボルトの交換基準	年	注1	注1			
	☆旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	30±5	30±5			
		(旋回作動角度)	(度)	(90)	(90)			
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1500)	(1500)			
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)			
			(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
	アウトリガー 自然伸縮量	各垂直シリンダー	mm	2以下	2以下			
		(測定時間) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) [図 No. 1]	(10) [図 No. 1]			
特記事項				注1：旋回ベアリング取付けボルトの中で緩み(新車基準トルク以下)がある場合は、そのボルトと両隣各2本の合計5本のボルトを交換する。 さらに、外輪取付けボルトの中で1本でも折損、脱落がある場合は外輪取付けボルトを全数を交換する。 また、内輪取付けボルトの中で、1本でも折損および脱落がある場合は外輪取付けボルトを全数を交換する。				

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

[illegible]

岩田商会

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
	伸縮量$W = A - B$ (測定箇所：右図④～⑦) 	
ブームシリンダ ー 作動時間		図-2 ブーム作動速度計測姿勢 

コンクリートポンプ車

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PT50-10(11)	PT70-10(11)	PT70-12	PY21-10
		主仕様	吸吐弁型式 最大吐出量 最大吐出圧力 ブーム最大地上高	— m ³ /h MPa m	スイング 55(40) 3.2(4.9) 〈ブーム無し〉	スイング 73(54) 5.5(7.9) 〈ブーム無し〉	スイング 100(70) 5.4(7.8) 〈ブーム無し〉
			適用号機	98P040001～	96P080001～ 03P*****	05P010001～	84P010001～ 96P*****
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	25±2	22±2	22±2
			ロータ回転数	回/min	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2100 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1850 ⁺⁰ ₋₅₀)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1777 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1777 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2192 ⁺⁰ ₋₅₀)
	装	かくはん装置	(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
			回転速度	min ⁻¹	22±2	32±2	31±3
			チェーンのたわみ	mm	20・チェーン中央	—	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)
	置	真空ポンプ	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1777 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1777 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2192 ⁺⁰ ₋₅₀)
			(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
			圧力設定値	MPa	—	—	—
			(設定値到達時間)	(min)	(—)	(—)	(—)
業装	置	シリンダ 自然降下量	圧力降下許容値	MPa	—	—	—
			(保持時間)	(min)	(—)	(—)	(—)
			Vベルトのたわみ	mm	—	—	—
	ブーム	シリンダ	ブーム(1)シリンダ	mm	—	—	—
			ブーム(2)シリンダ	mm	—	—	—
			ブーム(3)シリンダ	mm	—	—	—
			ブーム(4)シリンダ	mm	—	—	—
	装	☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム(5)シリンダ	mm	—	—	—
			(測定時間)	(min)	(—)	(—)	(—)
			(作動計測条件)	(—)	(—)	(—)	(—)
			(作業装置姿勢)	[図面No.]	[—]	[—]	[—]
置	洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	ブーム(1)伸び	sec	—	—	—
			縮み	sec	—	—	—
			ブーム(2)伸び	sec	—	—	—
			縮み	sec	—	—	—
	空圧機	吐出圧力	ブーム(3)伸び	sec	—	—	—
			縮み	sec	—	—	—
			ブーム(4)伸び	sec	—	—	—
			縮み	sec	—	—	—
		吐出圧力	ブーム(5)伸び	sec	—	—	—
			縮み	sec	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2100 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1850 ⁺⁰ ₋₅₀)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1777 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1777 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2192 ⁺⁰ ₋₅₀)
		吐出圧力	(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
		吐出圧力					
		吐出圧力					

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

コンクリートポンプ車

PY60-14/18	PY75(A)-16	PY75B-16(AB)	PY75(A)-18	PY75A-19(A)	PY75B-19A(B)	PY80-26H	PY21-51
スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング
60	78(55)	78(55)	78(55)	78(55)	78(55)	80	100(70)
4.7	3.2(4.9)	3.2(4.9)	3.2(4.9)	3.2(4.9)	3.2(4.9)	12.3(8.3)	5.4(7.8)
14.3	16	16	18	18.6	18.6	25.7	21.4
98P040001～ 97P*****	98P100001～ 01P*****	01P110001～	97P020001～ 99P*****	00P040001～ 02P*****	02P020001～	98P100001～ 02P*****	83P000001～ 84P*****
検査基準値							
36±2	36±2	36±2	36±2	36±2	36±2	38±2	32±2
—	—	—	—	—	—	—	—
(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (2172 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1400 ⁺⁰ ₋₅₀) (1670 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1937 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
31±3 20・チェーン中央	27±2 20・チェーン中央	31±3 20・チェーン中央	27±2 20・チェーン中央	27±2 20・チェーン中央	31±3 20・チェーン中央	25±2 —	38±3 —
(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (2172 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1400 ⁺⁰ ₋₅₀) (1670 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1937 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
—	—	—	—	—	—	—	—
0.5以下 0.5以下 0.5以下 —	0.5以下 0.5以下 0.5以下 —	0.5以下 0.5以下 0.5以下 —	0.5以下 0.5以下 0.5以下 —	0.5以下 0.5以下 0.5以下 —	0.5以下 0.5以下 0.5以下 —	0.5以下 0.5以下 0.5以下 —	0.5以下 0.5以下 0.5以下 —
(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]
35±10 30±10	65±10 65±10	65±10 65±10	40±10 65±10	55±10 55±10	55±10 55±10	65±10 75±10	60±10 65±10
40±10 40±10	55±10 65±10	55±10 65±10	35±10 65±10	65±10 80±10	65±10 80±10	75±10 70±10	85±10 85±10
55±10 60±10	65±10 85±10	65±10 85±10	30±10 55±10	45±10 55±10	45±10 55±10	50±10 90±10	50±10 65±10
—	—	—	—	20±5 30±5	20±5 30±5	30±10 40±10	—
—	—	—	—	—	—	—	—
(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1400 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]
20.6±1 4.9 —	27.5±1 4.9 —	27.5±1 4.9 —	27.5±1 4.9 —	27.5±1 4.9 —	27.5±1 4.9 —	27.5±1 7.6 —	12.3±1 5.9 —
—	—	—	—	—	—	—	—
(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (2172 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1400 ⁺⁰ ₋₅₀) (1670 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1937 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PT50-10(11)	PT70-10(11)	PT70-12	PY21-10	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイング	スイング	スイング	スイング
			最大吐出量	m ³ /h	55	73(54)	72(53)	100(70)
			最大吐出圧力	MPa	3.2(4.9)	5.5(7.9)	5.6(7.9)	5.4(7.8)
			アーム最大地上高	m	<アーム無し>	<アーム無し>	<アーム無し>	<アーム無し>
適用号機				98P040001～	96P080001～ 03P*****	05P010001～	84P010001～ 96P*****	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	
		弁シリンダ油圧	MPa	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	
		かくはんモータ油圧	MPa	13.7±1	13.7±1	13.7±1	13.7±1	
		ブーム油圧	MPa	—	—	—	—	
		ACCガス封入圧力	MPa	—	—	—	7.8±1	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1850 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(シヤシで異なる)	(1777 ⁺⁰ ₋₅₀)	(シヤシで異なる)	(2192 ⁺⁰ ₋₅₀)	
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
車体・安全装置	☆旋回	外輪取付ボルトの締付トルク	N・m	—	—	—	—	
		内輪取付ボルトの締付トルク	N・m	—	—	—	—	
		取付ボルトの交換基準	年	—	—	—	—	
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	—	—	—	—	
		(旋回作動角度)	(度)	(—)	(—)	(—)	(—)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
		(作動油温度)	(℃)	(—)	(—)	(—)	(—)	
	☆アウトリガ	各垂直シリンダ	mm	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下	
		(測定時間)	min	(10)	(10)	(10)	(10)	
(作業装置姿勢)		[図面No.]	[—]	[—]	[—]	[—]		
特記事項				1) 油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2) 標準圧送システムの場合について示す。 3) 自動給油は給油されていることを確認すること。				
							6) PY21-10EM 共通	

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

PY60-14/18	PY75(A)-16	PY75B-16(AB)	PY75(A)-18	PY75A-19(A)	PY75B-19A(B)	PY80-26H	PY21-51
スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング
60	78(55)	78(55)	78(55)	78(55)	78(55)	80	100(70)
4.7	3.2(4.9)	3.2(4.9)	3.2(4.9)	3.2(4.9)	3.2(4.9)	12.3(8.3)	5.4(7.8)
14.3	16	16	18	18.6	18.6	25.7	21.4
89P000001～ 97P*****	97P010001～ 01P*****	01P110001～	97P020001～ 99P*****	00P040001～ 02P*****	02P020001～	98P100001～ 02P*****	83P000001～ 84P*****
検査基準値							
27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
13.7±1	10.8±1	10.8±1	10.8±1	10.8±1	10.8±1	13.7±1	13.7±1
—	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	20.6±1
—	—	—	—	—	—	7.8±1	7.8±1
(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1400 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)
(2172 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2070 ⁺⁰ ₋₅₀)	(シャシで異なる)	(2070 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2070 ⁺⁰ ₋₅₀)	(シャシで異なる)	(1670 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1937 ⁺⁰ ₋₅₀)
(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8	294±9.8	294±9.8
294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8	294±9.8	294±9.8
特記 5)	特記 5)	特記 5)	特記 5)	特記 5)	特記 5)	特記 5)	特記 5)
85±10	75±10	65±10	75±10	65±10	65±10	165±15	110±10
(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)
(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1400 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)
(2172 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2070 ⁺⁰ ₋₅₀)	(シャシで異なる)	(2070 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2070 ⁺⁰ ₋₅₀)	(シャシで異なる)	(1670 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1937 ⁺⁰ ₋₅₀)
(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]
1) 油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2) 標準圧送システムの場合について示す。 3) 自動給油は給油されていることを確認すること。 4) シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 5) 締付トルクを下回る緩みがない本でもあればそのベアリング輪(外輪 又は 内輪)のボルト全数交換。							
		6) PY75B-16AE M 共通		6) PY75A-19は アーム(4)伸縮手動			

極東開発工業

適用範囲			モデル名		PY21-51A	PY21-60	PY21-60A	PY110-25	
			吸吐弁形式	—	スイング	スイング	スイング	スイング	
			最大吐出量	m ³ /h	100(70)	100(70)	100(70)	110(75)	
			最大吐出圧力	MPa	5.4(7.8)	5.4(7.8)	5.4(7.8)	4.6(6.6)	
			ブーム最大地上高	m	21.4	29	29	25	
			適用号機	84P000001～94P*****	84P020001～85P*****	85P000001～85P*****	89P010001～95P*****		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値					
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数 ロータ回転数	回/min 回/min	32±2 —	32±2 —	32±2 —	32±2 —	
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1937 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) (1320 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) (1320 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) 日野 日産 1937 ⁺⁰ ₋₅₀ いすゞ 三菱 菱2172 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	
			回転速度 チェーンのたわみ	min ⁻¹ mm	38±3 —	26±3 —	26±3 —	38±3 —	
		かくはん装置	(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1937 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) (1320 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) (1320 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) 日野 日産 1937 ⁺⁰ ₋₅₀ いすゞ 三菱 菱2172 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	
			真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	MPa (min)	(—)	(—)	(—)	(—)
				圧力降下許容値 (保持時間)	MPa (min)	(—)	(—)	(—)	(—)
	Vベルトのたわみ	mm		—	—	—	—		
	ブーム装置	シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	
			ブーム (2) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	
			ブーム (3) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	
			ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	—	0.5 以下	
			ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—	
			(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	
		☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	60±10	85±10	85±10	85±10	
縮み			sec	65±10	60±10	60±10	80±10		
ブーム (2) 伸び			sec	85±10	170±10	170±10	100±10		
縮み			sec	85±10	185±10	185±10	125±10		
ブーム (3) 伸び			sec	50±10	105±10	105±10	105±10		
縮み			sec	65±10	120±10	120±10	150±10		
ブーム (4) 伸び			sec	—	—	—	60±10		
縮み			sec	—	—	—	85±10		
ブーム (5) 伸び			sec	—	—	—	—		
縮み			sec	—	—	—	—		
(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)			(min ⁻¹) (℃) [図面No.]	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]		
洗浄装置			水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	20.6±1	20.6±1	20.6±1	20.6±1
	水圧 飛距離	MPa m		5.9 —	5.9 —	5.9 —	5.9 —		
	空圧機	吐出圧力	MPa	—	—	—	—		
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1937 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) (1320 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) (1320 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) 日野 日産 1937 ⁺⁰ ₋₅₀ いすゞ 三菱 菱2172 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)		

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

PY115(A)-26(BC)	PY100-26-S	PY100-26-SEM	PY100-21H	PY100-26H	PY115-31	PY115-31A	PY120(A)-33(AB)
スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング
115(80)	105(73)	105(73)	100(55)	100(55)	115(80)	115(80)	124(90)
4.6(6.6)	4.9(7.0)	4.9(7.0)	6.1(11.8)	6.1(11.8)	4.6(6.6)	4.6(6.6)	4.6(6.6)
25.8	25.8	25.8	20.9	25.8	30.7	30.7	32.6
95P000001～	09P050001～	09P043002～	03P025014～ 03P*****	04P040001～	92P010001～ 95P*****	95P050001～ 97P*****	97P000001～
検査基準値							
32±2 —	23±2 —	23±2 —	30±2 —	30±2 —	32±2 —	32±2 —	32±2 —
(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
34±3 —	34±3 —	34±3 —	34±3 —	34±3 —	34±3 —	34±3 —	34±3 —
(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
—	—	—	—	—	—	—	—
0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下
(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]
65±10 75±10	65±10 75±10	65±10 75±10	56±10 49±10	65±10 75±10	105±10 80±10	105±10 80±10	115±15 105±15
75±10 70±10	75±10 70±10	75±10 70±10	54±10 99±10	75±10 70±10	80±10 95±10	80±10 95±10	115±15 115±15
50±10 90±10	50±10 90±10	50±10 90±10	25±10 37±10	50±10 90±10	90±10 115±10	90±10 115±10	110±15 165±15
30±10 40±10	30±10 40±10	30±10 40±10	— —	30±10 40±10	65±10 90±10	65±10 90±10	40±10 65±10
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]
27.5±1 4.9 —	23.5±1 6.6 —	23.5±1 6.6 —	23.5±1 10.5 —	23.5±1 10.5 —	20.6±1 5.9 —	27.5±1 4.9 —	27.5±1 4.9 —
—	—	—	—	—	—	—	—
(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PY21-51A	PY21-60	PY21-60A	PY110-25	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイング	スイング	スイング	スイング
			最大吐出量	m ³ /h	100(70)	100(70)	100(70)	110(75)
			最大吐出圧力	MPa	5.4(7.8)	5.4(7.8)	5.4(7.8)	4.6(6.6)
			アーム最大地上高	m	21.4	29	29	25
適用号機				84P000001～94P*****	84P020001～85P*****	85P000001～85P*****	89P010001～95P*****	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	
		弁シリンダ油圧	MPa	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	
		かくはんモータ油圧	MPa	13.7±1	13.7±1	13.7±1	13.7±1	
		ブーム油圧	MPa	20.6±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	
		ACCガス封入圧力	MPa	7.8±1	7.8±1	7.8±1	7.8±1	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)	
(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1937 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1320 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1320 ⁺⁰ ₋₅₀)	1937 ⁺⁰ ₋₅₀ いすゞ三菱			
(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	菱2172 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)			
車体・安全装置	☆旋回ベアリング 取付けボルトの 締付け	外輪取付ボルトの 締付トルク	N・m	294±9.8	765±9.8	765±9.8	294±9.8	
		内輪取付ボルトの 締付トルク	N・m	294±9.8	765±9.8	765±9.8	294±9.8	
		取付ボルトの交換基準	年	特記 5)	特記 5)	特記 5)	特記 5)	
	☆旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	110±10	205±10	205±10	155±10	
		(旋回作動角度)	(度)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1937)	(1320)	(1320)	日野 日産 1937 ⁺⁰ ₋₅₀ いすゞ三菱	
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	菱2172 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	
	アウトリガ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	
特記事項				1)油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2)標準圧送システムの場合について示す。 3)自動給油は給油されていることを確認すること。 4)シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 5)締付トルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪(外輪 又は 内輪)のボルト全数交換。				
				6)キャブ上側作動防止装置作動確認 7)ポンプ回転数ベアリングでは1800rpm				
				8)PY21-60HLV 共通				

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

PY115(A)-26(BC)	PY100-26-S	PY100-26-SEM	PY100-21H	PY100-26H	PY115-31	PY115-31A	PY120(A)-33(AB)
スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング
115(80)	105(73)	105(73)	100(55)	100(55)	115(80)	115(80)	124(90)
4.6(6.6)	4.9(7.0)	4.9(7.0)	6.1(11.8)	6.1(11.8)	4.6(6.6)	4.6(6.6)	4.6(6.6)
25.8	25.8	25.8	20.9	25.8	30.7	30.7	32.6
95P000001～	09P050001～	09P043002～	03P025014～03P*****	04P040001～	92P010001～95P*****	95P050001～97P*****	97P000001～
検査基準値							
27.5±1	29.4±1	29.4±1	29.4±1	29.4±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
27.5±1	13.5±1	13.5±1	29.4±1	29.4±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
13.7±1	13.7±1	13.7±1	13.7±0.5	13.7±0.5	13.7±1	13.7±1	13.7±1
27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	28.4±1	28.4±1	28.4±1
—	7.8±1	7.8±1	7.8±1	7.8±1	7.8±1	—	—
(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (ヤシで異なる) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
294±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8	—	—	—
294±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8	—	—	—
特記 5)	特記 5)	特記 5)	特記 5)	特記 5)	—	—	—
165±15	165±15	165±15	190±10	165±15	120±10	120±10	185±20
(360・全旋回) (1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (ヤシで異なる) (50±10)	(360・全旋回) (1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(360・全旋回) (1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(360・全旋回) (1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(360・全旋回) (1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(370・限定旋回) (1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(370・限定旋回) (1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(370・限定旋回) (1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]
1) 油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2) 標準圧送システムの場合について示す。 3) 自動給油は給油されていることを確認すること。 4) シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 5) 締付トルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪(外輪 又は 内輪)のボルト全数交換。							
6) ACCガス封入圧力14MPa (アーム制振装置搭載車のみ)					6) アーム制振装置ACCガス封入圧力14MPa (アーム制振装置搭載車のみ)		
					7) PY115-31H LV 共通		

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PY120 (A)-36	PY100-30-S	PT80-10	PT85-10
		吸吐弁形式	—	スイング	スイング	スイング	スイング
		主仕様最大吐出量	m ³ /h	120(85)	105(73)	80(55)	86(55)
		最大吐出圧力	MPa	4.6(6.6)	4.9(7.0)	11.8(8.3)	11.8(7.3)
		ブーム最大地上高	m	35.6	29.8	<ブーム無し>	<ブーム無し>
		適用号機		96P010001～04P*****	09P030001～	92P000001～01P*****	07P030001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	26±2	23±2	38±2	26±2
		ロータ回転数	回/min	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1400 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1489 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1670 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)
	かくはん装置	(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
		回転速度	min ⁻¹	34±3	31±3	31±3	32±2
		チェーンのたわみ	mm	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1400 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)
	真空ポンプ	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1489 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1670 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
		圧力設定値 (設定値到達時間)	MPa (min)	(—)	(—)	(—)	(—)
		圧力降下許容値 (保持時間)	MPa (min)	(—)	(—)	(—)	(—)
	ブーム装置	Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—
ブーム装置	シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	—	—
		ブーム (2) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	—	—
		ブーム (3) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	—	—
		ブーム (4) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	—	—
		ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—
		(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) [図 No. 1]	(10) [図 No. 1]	(—) [—]	(—) [—]
	☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	125±10	60±15	—	—
		縮み	sec	90±10	95±10	—	—
		ブーム (2) 伸び	sec	150±10	65±10	—	—
		縮み	sec	120±10	75±10	—	—
		ブーム (3) 伸び	sec	115±10	80±10	—	—
		縮み	sec	200±10	95±10	—	—
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	27.5±1	23.5±1	27.5±1	23.5±1
		油圧 圧 飛距離	MPa m	4.9 —	6.6 —	6.5 —	10.5 —
	空圧機	吐出圧力	MPa	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1400 ⁺⁰ ₋₅₀) (1670 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

コンクリートポンプ車

PY125-36A	PY125-36A (コンクリート)	PY135-28-H	PY135-26-H	PY75B-17	PY120-30	PT110-10	PY90-17
スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング
124(90)	124(90)	135(100)	135(100)	78(55)	121(87)	100	90(65)
4.9(7.0)	4.9(7.0)	8.5(13.3)	8.5(13.3)	3.2(4.9)	4.9(7.0)	13.3	5.9(8.5)
35.6	35.6	27.9	25.8	16.6	29.8	<ブーム無し>	16.6
11P12-3010～	11P12-3010～	14P02-0010～	13P06-0024 13P11-0014	13P10-0004～	12P06-0007～	15P03-0007～	15P06-0016～
検査基準値							
24±2	24±2	26±2	26±2	36±2	27±2	26±2	39±2
—	—	—	—	—	—	—	—
(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (1654 ⁺⁰ ₋₄₀) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (1990 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (1739 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (1654 ⁺⁰ ₋₄₀) (50±10)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀) (1875 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
31±3	31±3	33±3	36±3	31±3 20・チェーン中央	31±3	33±3	34±3 20・チェーン中央
—	—	—	—	—	—	—	—
(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (1654 ⁺⁰ ₋₄₀) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (1990 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (1739 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (1654 ⁺⁰ ₋₄₀) (50±10)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀) (1875 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
—	—	—	—	—	—	—	—
0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —	— — — — —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —
(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(—) (—) [—]	(10) (—) [図 No. 1]
60±10 120±10	75±10 105±10	65±10 70±10	60±10 70±10	70±10 70±10	60±15 95±10	— —	70±10 70±10
140±10 140±10	70±10 70±10	90±10 75±10	70±10 70±10	55±10 70±10	— 75±10	— —	55±10 65±10
135±10 135±10	60±10 75±10	60±10 90±10	45±10 90±10	65±10 90±10	80±10 95±10	— —	55±10 85±10
50±10 90±10	55±10 60±10	35±10 55±10	30±10 40±10	— —	35±10 70±10	— —	— —
—	—	—	—	—	—	—	—
(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(—) (—) [—]	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]
23.5±1 6.6 —	23.5±1 6.6 —	23.5±1 10.5 —	23.5±1 10.5 —	27.5±1 4.9 —	23.5±1 6.6 —	23.5±1 10.5 —	23.5±1 6.6 —
—	—	—	—	—	—	—	—
(1200 ⁺⁰ ₋₅₀) (992 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1200 ⁺⁰ ₋₅₀) (992 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1380 ⁺⁰ ₋₅₀) (1141 ⁺⁰ ₋₄₀) (50±10)	(1150 ⁺⁰ ₋₅₀) (1141 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (1739 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1380 ⁺⁰ ₋₅₀) (1141 ⁺⁰ ₋₄₀) (50±10)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀) (1875 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PY120(A)-36	PY100-30-S	PT80-10	PT85-10
		吸吐弁型式	—	スイング	スイング	スイング	スイング
		最大吐出量	m ³ /h	120(85)	105(73)	80(55)	86(55)
		最大吐出圧力	MPa	4.6(6.6)	4.9(7.0)	11.8(8.3)	11.8(7.3)
		ブーム最大地上高	m	35.6	29.8	＜ブーム無し＞	＜ブーム無し＞
		適用号機		96P010001～04P*****	09P030001～	92P000001～01P*****	07P030001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	27.5±1	29.4±1	27.5±1	29.4±1
		弁シリンダ油圧	MPa	27.5±1	13.5±1	27.5±1	29.4±1
		かくはんモータ油圧	MPa	13.7±1	13.7±1	13.7±1	13.7±0.5
		ブーム油圧	MPa	28.4±1	29.4±1	—	—
		ACCガス封入圧力	MPa	—	7.8±1	7.8±1	7.8±1
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1400 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1489 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1670 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)
車体・安全装置	☆旋回ベアリング 取付けボルトの締付け	外輪取付ボルトの締付トルク	N・m	—	—	—	—
		内輪取付ボルトの締付トルク	N・m	—	—	—	—
		取付ボルトの交換基準	年	—	—	—	—
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	150±10	135±15	—	—
		(旋回作動角度)	(度)	(370・限定旋回)	(370・限定旋回)	(—)	(—)
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1489 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(—)	(—)
	☆シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5以下
		(測定時間)	min	(10)	(10)	(10)	(10)
特記事項				1) 油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2) 標準圧送システムの場合について示す。 3) 自動給油は給油されていることを確認すること。 4) シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。			
				5) ブーム制振装置 ACC ガス封入圧力 13.8MPa	5) ブーム制振装置 ACC ガス封入圧力 14MPa	特記事項4) 適用外	

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

PY125-36A	PY125-36A (KONT 付)	PY135-28-H	PY135-26-H	PY75B-17	PY120-30	PT110-10	PY90-17
スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング
124(90)	124(90)	135(100)	135(100)	78(55)	121(87)	100	90(65)
4.9(7.0)	4.9(7.0)	8.5(13.3)	8.5(13.3)	3.2(4.9)	4.9(7.0)	13.3	5.9(8.5)
35.6	35.6	27.9	25.8	16.6	29.8	＜ブーム無し＞	16.6
11P12-3010～	11P12-3010～	14P02-0010～	13P04-0007 13P06-0024 13P11-0014	13P10-0004～	12P06-0007～	15P03-0007～	15P06-0016～
検査基準値							
29.4±1	29.4±1	34.3±1	34.3±1	27.5±1	29.4±1	34.3±1	29.4±1
29.4±1	29.4±1	18.6±1	18.6±1	27.5±1	29.4±1	18.6±1	29.4±1
13.7±1	13.7±1	13.7±1	13.7±1	10.8±1	13.7±1	13.7±1	13.7±1
34.3±1	34.3±1	34.3±1	27.5±1	27.5±1	29.4±1	—	27.5±1
—	—	7.8±1	7.8±1	—	—	7.8±1	—
(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀)
(1489 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1489 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1654 ⁺⁰ ₋₄₀)	(1990 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1739 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1654 ⁺⁰ ₋₄₀)	(1875 ⁺⁰ ₋₅₀)
(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
—	—	—	294±9.8	325.6±9.8	—	—	325.6±9.8
—	—	—	294±9.8	325.6±9.8	—	—	325.6±9.8
—	—	—	特記 5)	特記 5)	—	—	特記 5)
135±10	70±10	155±15	165±15	70±10	135±15	—	65±10
(370・限定旋回)	(370・限定旋回)	(370・限定旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(370・限定旋回)	(—)	(360・全旋回)
(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(—)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀)
(1489 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1489 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1654 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1990 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1739 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(—)	(1875 ⁺⁰ ₋₅₀)
(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(—)	(50±10)
0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[—]	[図 No. 2]
1) 油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2) 標準圧送システムの場合について示す。 3) 自動給油は給油されていることを確認すること。 4) シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。							
			5) 締付トルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪(外輪又は内輪)のボルト全数交換。			特記事項4) 適用外	5) 締付トルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪(外輪又は内輪)のボルト全数交換。
6) ブーム制振装置 ACC ガス封入圧力 13.8MPa			6) ブーム制振装置 ACC ガス封入圧力 14MPa		6) ブーム制振装置 ACC ガス封入圧力 14MPa		

極東開發工業

適用範囲		モデル名		PY120-33C	PY165-39	PY120B-26D		
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイング	スイング	スイング	
			最大吐出量	m ³ /h	122 (88)	165	120 (85)	
			最大吐出圧力	MPa	4.9 (7.0)	8.5	4.6 (7.1)	
			ブーム最大地上高	m	32.6	38.3	25.7	
適用号機				17P070020～	17P110018～	20P11-0002～		
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
作業装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	27±2	35±2	30±2		
		ロータ回転数	回/min	—	—	—		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2600±25)	(1800±25)		
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1714±20)	(1791±25)		
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)		
		(作動油粘度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)		
	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	34±3	31±3	30±3		
		チェーンのたわみ	mm	—	—	—		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2600±25)	(1800±25)		
	真空ポンプ	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1714±20)	(1791±25)		
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)		
		圧力設定値 (設定値到達時間)	MPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)		
		圧力降下許容値 (保持時間)	MPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)		
	Vベルトのたわみ	mm	—	—	—			
	ブーム装置	シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	
			ブーム (2) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	
			ブーム (3) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	
			ブーム (4) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	
ブーム (5) シリンダ			mm	—	0.5 以下	—		
スターバーム装置		(測定時間)	(min)	(10)	(10)	(10)		
		(作動計測条件)	(—)	(—)	(—)			
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 1]	[図 No. 4]	[図 No. 1]		
		ブーム (1) 伸び	sec	80±10	75±10	55±10		
		縮み	sec	100±10	110±10	75±10		
		ブーム (2) 伸び	sec	100±10	115±10	70±10		
		縮み	sec	100±10	135±10	70±10		
☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (3) 伸び	sec	95±10	90±10	60±10			
	縮み	sec	95±10	110±10	90±10			
	ブーム (4) 伸び	sec	45±10	80±10	30±10			
	縮み	sec	75±10	100±10	45±10			
	ブーム (5) 伸び	sec	—	35±10	—			
	縮み	sec	—	65±10	—			
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2600±25)	(1800±25)			
(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)				
(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 3]	[図 No. 6]	[図 No. 3]				
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	23.5±1	20.6±1	23.5±1		
		油圧 水圧 飛距離	MPa m	6.6 —	5.7 —	8.0 —		
	空圧機	吐出圧力	MPa	—	0.93	—		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2600±25)	(1800±25)		
(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1714±20)	(1791±25)				
(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)				

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

[illegible]

適用範囲		モデル名		PY120-33C	PY165-39	PY120B-26D		
		主仕様	吸吐弁型式	スイング	スイング	スイング		
			最大吐出量	122 (88)	165	120 (85)		
			最大吐出圧力	4.9 (7.0)	8.5	4.6 (7.1)		
		ブーム最大地上高	32.6	38.3	25.7			
		適用号機	17P070020～	17P110018～	20P11-0002～			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準			値	
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	29.4±1	36.0±1	28.5±1		
		弁シリンダ油圧	MPa	29.4±1	19.0±1	18.6±1		
		かくはんモータ油圧	MPa	13.7±1	13.7±1	13.7±1		
		ブーム油圧	MPa	34.3±1	34±1	27.5±1		
		ACC ガス封入圧力	MPa	—	7.8±1	7.8±1		
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2600±25) (1714±20) (50±10)	(1800±25) (1791±25) (50±10)	
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルトの 締付け	外輪取付けボルトの 締付トルク	N・m	—	1050±35	294±9.8		
		内輪取付けボルトの 締付トルク	N・m	—	1050±35	294±9.8		
		取付けボルトの交換基準	年	—	特記 5)	特記 5)		
	☆ 旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	135±10	240±15	165±15		
		(旋回作動角度)	(度)	(370・限定旋回)	(365・限定旋回)	(360・全旋回)		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2600±25)	(1800±25)		
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1714±20)	(1791±25)		
			(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
	☆ シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下		
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 5]	(10) [図 No. 2]		
				1) 油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2) 標準圧送システムの場合について示す。 3) 自動給油は給油されていることを確認すること。 4) シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。				
特記事項				5) 締付トルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪(外輪 又は内輪)のボルト全数交換。				
				5) ブーム制振装置 ACC ガス封入圧力 13.8MPa	6) ブーム制振装置 ACC ガス封入圧力 13.8MPa	6) ブーム制振装置 ACC ガス封入圧力 14MPa		

22

[illegible]

23

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PH20-11	PH20-11A	PH10-50, 50A	PH30-11
		主仕様	吸吐弁型式	—	スキューズ	スキューズ	スキューズ
			最大吐出量	m ³ /h	20	20	30
			最大吐出圧力	MPa	1.2	1.2	1.8
			7メートル最大地上高	m	11	11	11
		適用号機		87P00001～91P*****	97P00001～98P*****	84P000001～90P*****	90P000001～97P*****
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	—	—	—	—
		ロータ回転数	回/min	25±1	25±1	30±1	30±1
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(1500 ⁺⁰⁻⁵⁰) いすゞ1780 ⁺⁰⁻⁵⁰ 三菱1500 ⁺⁰⁻⁵⁰ (50±10)	(1500 ⁺⁰⁻⁵⁰) いすゞ1780 ⁺⁰⁻⁵⁰ 三菱1500 ⁺⁰⁻⁵⁰ (50±10)	(2000 ⁺⁰⁻⁵⁰) いすゞ2380 ⁺⁰⁻⁵⁰ 三菱2000 ⁺⁰⁻⁵⁰ (50±10)	(1750 ⁺⁰⁻⁵⁰) いすゞ2080 ⁺⁰⁻⁵⁰ 三菱1500 ⁺⁰⁻⁵⁰ (50±10)
	かくはん装置	回転速度 チェーンのたわみ	min ⁻¹ mm	18±3 20・チェーン中央	18±3 20・チェーン中央	26±3 20・チェーン中央	22±3 20・チェーン中央
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(1500 ⁺⁰⁻⁵⁰) いすゞ1780 ⁺⁰⁻⁵⁰ 三菱1500 ⁺⁰⁻⁵⁰ (50±10)	(1500 ⁺⁰⁻⁵⁰) いすゞ1780 ⁺⁰⁻⁵⁰ 三菱1500 ⁺⁰⁻⁵⁰ (50±10)	(2000 ⁺⁰⁻⁵⁰) いすゞ2380 ⁺⁰⁻⁵⁰ 三菱2000 ⁺⁰⁻⁵⁰ (50±10)	(1750 ⁺⁰⁻⁵⁰) いすゞ2080 ⁺⁰⁻⁵⁰ 三菱1500 ⁺⁰⁻⁵⁰ (50±10)
		圧力設定値 (設定値到達時間)	MPa (min)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)
	真空ポンプ	圧力降下許容値 (保持時間)	MPa (min)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)
		Vベルトのたわみ	mm	20・Vベルト中央	20・Vベルト中央	15～20・Vベルト中央	15～20・Vベルト中央
	ブーム装置	シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
			ブーム (2) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
			ブーム (3) シリンダ	mm	—	0.5 以下	0.5 以下
			ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	—
			ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—
			(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) (—) [図面No.]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]
	ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び 縮み	sec	35±10	35±10	35±10	35±10
			sec	35±10	35±10	35±10	35±10
			sec	55±10	40±10	35±10	40±10
			sec	70±10	35±10	30±10	35±10
			sec	—	20±10	15±10	20±10
			sec	—	20±10	20±10	20±10
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用) 空圧機	吐出圧力	油圧 MPa	—	—	—	—
			水圧 MPa m	1.2	1.2	1.8	1.8
		吐出圧力	MPa	—	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)
				(—)	(—)	(—)	(—)
				(—)	(—)	(—)	(—)

☆印：新車基準値を表す (参考値)。

コンクリートポンプ車

PQ10-10	PH35 (AB)-11	PH40-14	PH45 (A)-14 (A)	PH40-16	PH50-14	PH50-16	PH50 (AB)-17
スキューズ	スキューズ	スキューズ	スキューズ	スキューズ	スキューズ	スキューズ	スキューズ
40	35	40	45(32) 特記5)	40	50	50(30)	50(36)
1.8	2.5	1.8	1.8(2.5)	1.8	2.0	1.5(2.5)	1.8(2.5)
<7メートル無し>	11	14	14	16	14	16	17
81P000001～95P*****	00P095005～	90P010001～93P*****	97P000001～	99P030001～96P*****	90P020001～93P*****	99P020001～99P*****	99P040001～
検査基準値							
— 40±1	— 26±1 特記5)	— 40±1	— 36±1	— 44±1	— 36±1	— 40±1	— 40±1
(2000 ⁺⁰⁻⁵⁰) いすゞ2380 ⁺⁰⁻⁵⁰ 三菱2000 ⁺⁰⁻⁵⁰ (50±10)	(2000 ⁺⁰⁻⁵⁰) (ｼｬｼで異なる) (50±10)	(1750 ⁺⁰⁻⁵⁰) (1700 ⁺⁰⁻⁵⁰) (50±10)	(2000 ⁺⁰⁻⁵⁰) (ｼｬｼで異なる) (50±10)	(2050 ⁺⁰⁻⁵⁰) (2000 ⁺⁰⁻⁵⁰) (50±10)	(1990 ⁺⁰⁻⁵⁰) (1940 ⁺⁰⁻⁵⁰) (50±10)	(2160 ⁺⁰⁻⁵⁰) いすゞ2570 ⁺⁰⁻⁵⁰ 三菱2160 ⁺⁰⁻⁵⁰ (50±10)	(2160 ⁺⁰⁻⁵⁰) (ｼｬｼで異なる) (50±10)
29±3 20・チェーン中央	30±3 20・チェーン中央	21±3 20・チェーン中央	28±3 20・チェーン中央	25±3 20・チェーン中央	25±3 20・チェーン中央	23±3 20・チェーン中央	30±3 20・チェーン中央
(2000 ⁺⁰⁻⁵⁰) いすゞ2380 ⁺⁰⁻⁵⁰ 三菱2000 ⁺⁰⁻⁵⁰ (50±10)	(2000 ⁺⁰⁻⁵⁰) (ｼｬｼで異なる) (50±10)	(1750 ⁺⁰⁻⁵⁰) (1700 ⁺⁰⁻⁵⁰) (50±10)	(2000 ⁺⁰⁻⁵⁰) (ｼｬｼで異なる) (50±10)	(2050 ⁺⁰⁻⁵⁰) (2000 ⁺⁰⁻⁵⁰) (50±10)	(1990 ⁺⁰⁻⁵⁰) (1940 ⁺⁰⁻⁵⁰) (50±10)	(2160 ⁺⁰⁻⁵⁰) いすゞ2570 ⁺⁰⁻⁵⁰ 三菱2160 ⁺⁰⁻⁵⁰ (50±10)	(2160 ⁺⁰⁻⁵⁰) (ｼｬｼで異なる) (50±10)
0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)
0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)
15～20・Vベルト中央	(電動モータ駆動)	15～20・Vベルト中央	<電動モータ駆動>	(電動モータ駆動)	15～20・Vベルト中央	(電動モータ駆動)	(電動モータ駆動)
—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
—	—	—	—	—	—	—	—
(—) (—) [—]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]
—	45±10	40±10	50±10	35±10	38±10	55±10	60±10
—	70±10	35±10	60±10	30±10	30±10	60±10	60±10
—	40±10	35±10	40±10	40±10	40±10	45±10	45±10
—	55±10	35±10	55±10	35±10	40±10	65±10	65±10
—	30±10	50±10	30±10	50±10	50±10	40±10	45±10
—	40±10	55±10	40±10	60±10	55±10	60±10	60±10
—	—	—	—	—	—	—	20±5
—	—	—	—	—	—	—	30±5
—	—	—	—	—	—	—	—
(—) (—) [—]	(2000 ⁺⁰⁻⁵⁰) (50±10) [図 No. 3]	(1750 ⁺⁰⁻⁵⁰) (50±10) [図 No. 3]	(2000 ⁺⁰⁻⁵⁰) (50±10) [図 No. 3]	(2050 ⁺⁰⁻⁵⁰) (50±10) [図 No. 3]	(1990 ⁺⁰⁻⁵⁰) (50±10) [図 No. 3]	(2160 ⁺⁰⁻⁵⁰) (50±10) [図 No. 3]	(2160 ⁺⁰⁻⁵⁰) (50±10) [図 No. 3]
1.8	2.5	1.8	2.5	1.8	2.0	2.5	2.5
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PH20-11	PH20-11A	PH10-50, 50A	PH30-11
		主仕様	吸吐弁型式	—	スキーズ	スキーズ	スキーズ
			最大吐出量	m ³ /h	20	20	30
			最大吐出圧力	MPa	1.2	1.2	1.8
			7 [°] 最大地上高	m	11	11	11
		適用号機		87P00001～91P*****	97P00001～98P*****	84P000001～90P*****	90P000001～97P*****
区分	検査箇所	検査項目(条件)		単位	検査基準値		
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧		MPa	13.7±1	13.7±1	20.6±1
		弁シリンダ油圧		MPa	—	—	—
		かくはんモータ油圧		MPa	7.4±1	7.4±1	8.8±1
		ブーム油圧		MPa	17.2±1	20.6±1	20.6±1
		ACCガス封入圧力		MPa	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)		(min ⁻¹)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)
車体・安全装置	☆旋回ベアリング 取付けボルトの締付け				いすゞ1780 ⁺⁰ ₋₅₀	いすゞ1780 ⁺⁰ ₋₅₀	いすゞ2380 ⁺⁰ ₋₅₀
		(エンジン回転数)		(min ⁻¹)	三菱1500 ⁺⁰ ₋₅₀	三菱1500 ⁺⁰ ₋₅₀	三菱2000 ⁺⁰ ₋₅₀
		(作動油温度)		(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
	☆旋回作動速度	外輪取付ボルトの締付トルク		N・m	167±9.8	167±9.8	167±9.8
		内輪取付ボルトの締付トルク		N・m	167±9.8	167±9.8	167±9.8
		取付ボルトの交換基準		年	特記 4)	特記 4)	特記 4)
	☆旋回作動速度	旋回速度		sec	100±10	100±10	90±10
		(旋回作動角度)		(度)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)
		(油圧ポンプ回転数)		(min ⁻¹)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)
		(エンジン回転数)		(min ⁻¹)	いすゞ1780 ⁺⁰ ₋₅₀	いすゞ1780 ⁺⁰ ₋₅₀	いすゞ2080 ⁺⁰ ₋₅₀
	アウトリガ	シリンダ		mm	0.5以下	0.5以下	0.5以下
		自然伸縮量		min	(10)	(10)	(10)
		(作業装置姿勢)		[図面No.]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]
特記事項					1)ポンプ圧力の測定は特殊治具を必要とし危険が伴うので、ベレーに異常の有無を確認し異常が無ければ省略する。		
					2)可変式油圧ポンプの場合は斜板を最大に切り換えた状態とする。		
					3)シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。		
					4)締付トルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪(外輪 又は 内輪)のボルト全数交換。		

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

PQ10-10	PH35 (AB)-11	PH40-14	PH45 (A)-14 (A)	PH40-16	PH50-14	PH50-16	PH50 (AB)-17
スキーズ	スキーズ	スキーズ	スキーズ	スキーズ	スキーズ	スキーズ	スキーズ
40	35	40	45(32) 特記5)	40	50	50(30)	50(36)
1.8	2.5	1.8	1.8(2.5)	1.8	2.0	1.5(2.5)	1.8(2.5)
<7 [°] 未満し>	11	14	14	16	14	16	17
81P000001～95P*****	00P095005～	90P010001～93P*****	97P000001～	99P030001～98P*****	90P020001～93P*****	99P020001～99P*****	99P040001～
検査基準値							
17.2±1	25.0±1	19.6±1	25.0±1	21.1±1	21.1±1	25.0±1	25.0±1
—	—	—	—	—	—	—	—
6.9±1	8.0±1	7.4±1	8.0±1	8.0±1	7.4±1	8.0±1	8.0±1
—	27.5±1 特記6)	20.6±1	27.1±1	27.1±1	20.6±1	27.1±1	27.5±1
—	—	—	—	—	—	—	—
(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) いすゞ2380 ⁺⁰ ₋₅₀ 三菱2000 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (ｼｬｼで異なる) (50±10)	(1750 ⁺⁰ ₋₅₀) (1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (ｼｬｼで異なる) (50±10)	(2050 ⁺⁰ ₋₅₀) (2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1990 ⁺⁰ ₋₅₀) (1940 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2160 ⁺⁰ ₋₅₀) いすゞ2570 ⁺⁰ ₋₅₀ 三菱2160 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	(2160 ⁺⁰ ₋₅₀) (ｼｬｼで異なる) (50±10)
—	167±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8
—	167±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8
—	特記 4)	特記 4)	特記 4)	特記 4)	特記 4)	特記 4)	特記 4)
—	60±10	140±10	60±10	75±10	100±10	75±10	55±10
(—)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)
(—)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1750 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2050 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1990 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2160 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2160 ⁺⁰ ₋₅₀)
(—)	(ｼｬｼで異なる)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀)	(ｼｬｼで異なる)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1940 ⁺⁰ ₋₅₀)	いすゞ2570 ⁺⁰ ₋₅₀ 三菱2160 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	(ｼｬｼで異なる) (50±10)
(—)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
(—)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
[—]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]
1)ポンプ圧力の測定は特殊治具を必要とし危険が伴うので、ベレーに異常の有無を確認して異常が無ければ省略する。 2)可変式油圧ポンプの場合は斜板を最大に切り換えた状態とする。							
	3)シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 4)締付トルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪(外輪 又は 内輪)のボルト全数交換。						
5)低圧時ミッション4速、高圧時3速(PQ10-10)	5)OP仕様マークの回転数は36±1 6)起伏縮のみ10±1 MPa		5)PH45-14 は45(35)				

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PH11-50	PH65-18	PH65-19	PH65 (A) -19A (B)
		主仕様	吸吐弁形式	—	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
			最大吐出量	m ³ /h	55	65(55)	65(55)
			最大吐出圧力	MPa	2.0	1.8(2.2)	1.8(2.2)
			アーム最大地上高	m	16	18	19
		適用号機		85P000001～92P*****	91P000001～99P*****	99P000001～99P*****	99P050001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	—	—	—
			ロータ回転数	回/min	40±1	35±1	35±1
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀) (1850 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1820 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1530 ⁺⁰ ₋₅₀) (1860 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
	装	かくはん装置	回転速度 チェーンのたわみ	min ⁻¹ mm	28±3 20・チェーン中央	21±3 20・チェーン中央	21±3 20・チェーン中央
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀) (1850 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1820 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1530 ⁺⁰ ₋₅₀) (1860 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
			圧力設定値 (設定値到達時間)	MPa (min)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)
	置	真空ポンプ	圧力降下許容値 (保持時間)	MPa (min)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)
			Vベルトのたわみ	mm	15～20・ベ [°] 外中央	＜電動モータ駆動＞	＜電動モータ駆動＞
	業装	シリンド 自然降下量	ブーム (1) シリンド ブーム (2) シリンド ブーム (3) シリンド ブーム (4) シリンド ブーム (5) シリンド	mm mm mm mm mm	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —
			(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]
		☆ブームシリンド 作動時間	ブーム (1) 伸び 縮み	sec sec	35±10 30±10	45±10 60±10	55±10 55±10
			ブーム (2) 伸び 縮み	sec sec	40±10 35±10	45±10 65±10	65±10 80±10
			ブーム (3) 伸び 縮み	sec sec	50±10 60±10	30±10 50±10	45±10 55±10
			ブーム (4) 伸び 縮み	sec sec	— —	— —	20±5 30±5
			ブーム (5) 伸び 縮み	sec sec	— —	— —	— —
			(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	(min ⁻¹) (℃) [図面No.]	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1530 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]
	洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用) 空圧機	吐出圧力 水圧 飛距離	MPa MPa m	— 2.0 —	— 1.8 —	— 2.2 —
			吐出圧力	MPa	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

PQ14-10/11/11A	PH14-52	PH14-60	PH75-25	PH80-26	PH80-26 (AB)	PH45A-15	PH55-18
スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
70	70	70	75	80(50)	80(70)	45(32)	55(40)
2.5	2.5	2.5	2.5	1.6(2.5)	2.2(2.5)	1.8(2.5)	1.8(2.5)
＜アーム無し＞	21.4	29	24.2	26	26	15	18
81P000001～95P*****	81P000001～94P*****	85P010001～95P*****	89P000001～95P*****	95P000001～97P*****	96P000001～08P*****	10P000001～	06P070001～
検査基準値							
—	—	—	—	—	—	—	—
25±1	25±1	25±1	26±1	31±1 特記5)	28±1	36±1	36±1
(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1930 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1930 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1930 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (1490 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2100 ⁺⁰ ₋₅₀) (1840 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1850 ⁺⁰ ₋₅₀) (1620 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (1890 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1890 ⁺⁰ ₋₅₀) (1890 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
36±3 20・チェーン中央	36±3 20・チェーン中央	41±3 20・チェーン中央	31±3 20・チェーン中央	40±3 20・チェーン中央	40±3 20・チェーン中央	28±3 20・チェーン中央	28±3 20・チェーン中央
(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1930 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1930 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1930 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (1490 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2100 ⁺⁰ ₋₅₀) (1840 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1850 ⁺⁰ ₋₅₀) (1620 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (1890 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1890 ⁺⁰ ₋₅₀) (1890 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)
0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)
5～10・ベ [°] 外中央	5～10・ベ [°] 外中央	5～10・ベ [°] 外中央	5～10・ベ [°] 外中央	＜電動モータ駆動＞	＜電動モータ駆動＞	＜電動モータ駆動＞	＜電動モータ駆動＞
—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
—	—	—	—	—	—	—	—
(—) (—) [—]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]
—	60±10 65±10	85±10 60±10	85±10 80±10	45±10 60±10	45±10 60±10	45±10 60±10	65±10 65±10
—	85±10	170±10	100±10	60±10	60±10	40±10	65±10
—	85±10	185±10	125±10	70±10	70±10	55±10	75±10
—	50±10	105±10	105±10	45±10	45±10	35±10	45±10
—	65±10	120±10	150±10	95±10	95±10	45±10	60±10
—	—	—	60±10	25± 5	25± 5	20±10	30±10
—	—	—	85±10	40± 5	40± 5	30±10	35±10
—	—	—	—	—	—	—	—
(—) (—) [—]	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(2100 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1850 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1890 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]
—	—	—	—	—	—	—	—
2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PH11-50	PH65-18	PH65-19	PH65(A)-19A(B)
		吸吐弁型式	—	スキーズ	スキーズ	スキーズ	スキーズ
		最大吐出量	m ³ /h	55	65(55)	65(55)	65(55)
		最大吐出圧力	MPa	2.0	1.8(2.2)	1.8(2.2)	1.8(2.2)
		アーム最大地上高	m	16	18	19	19
適用号機				85P000001～92P*****	91P000001～99P*****	99P000001～99P*****	99P050001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	21.1±1	25.5±1	26.0±1	26.0±1
		弁シリンダ油圧	MPa	—	—	—	—
		かくはんモータ油圧	MPa	7.4±1	6.9±1	8.0±1	8.0±1
		ブーム油圧	MPa	20.6±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
		ACCガス封入圧力	MPa	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀) (1850 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1820 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1530 ⁺⁰ ₋₅₀) (1860 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1530 ⁺⁰ ₋₅₀) (ｼｬｼで異なる) (50±10)
車体・安全装置	☆旋回ベアリング 取付けボルトの締付け	外輪取付ボルトの締付トルク	N・m	294±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8
		内輪取付ボルトの締付トルク	N・m	294±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8
		取付ボルトの交換基準	年	特記 4)	特記 4)	特記 4)	特記 4)
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	125±10	100±10	75±10	75±10
		(旋回作動角度)	(度)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀) (1850 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1820 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1530 ⁺⁰ ₋₅₀) (1860 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1530 ⁺⁰ ₋₅₀) (ｼｬｼで異なる) (50±10)
	アウトリガー 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面 No.]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]
	特記事項			1)ボンプ圧力の測定は特殊治具を必要とし危険が伴うので、ホーラに異常の有無を確認し異常が無ければ省略する。 2)可変式油圧ボンプの場合は斜板を最大に切り換えた状態とする。 3)シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 4)締付トルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪(外輪 又は 内輪)のボルト全数交換。 5)ベネルの非常停止ボタンの作動確認。(PH65-18)			

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

PQ14-10/11/11A	PH14-52	PH14-60	PH75-25	PH80-26	PH80-26(AB)	PH45A-15	PH55-18
スキーズ	スキーズ	スキーズ	スキーズ	スキーズ	スキーズ	スキーズ	スキーズ
70	70	70	75	80(50)	80(70)	45(32)	55(40)
2.5	2.5	2.5	2.5	1.6(2.5)	2.2(2.5)	1.8(2.5)	1.8(2.5)
0	21.4	29	24.2	26	26	15	18
81P000001～95P*****	81P000001～94P*****	85P010001～95P*****	89P000001～95P*****	96P000001～97P*****	96P000001～08P*****	10P000001～	06P070001～
検査基準値							
27.4±1	27.4±1	27.4±1	27.4±1	28.0±0.5	28.0±0.5	25.0±1	25.0±1
—	—	—	—	—	—	—	—
6.9±1	6.9±1	6.9±1	8.8±1	10.8±1	10.8±1	8.0±1	8.0±1
20.6±1	20.6±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
—	—	—	—	—	—	—	—
(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1930 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1930 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1930 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (1490 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2100 ⁺⁰ ₋₅₀) (1840 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1850 ⁺⁰ ₋₅₀) (1620 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (ｼｬｼで異なる) (50±10)	(1890 ⁺⁰ ₋₅₀) (ｼｬｼで異なる) (50±10)
—	294±9.8	765±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8
—	294±9.8	765±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8
—	特記 4)	特記 4)	特記 4)	特記 4)	特記 4)	特記 4)	特記 4)
—	110±10	205±10	155±10	165±15	165±15	90±10	90±10
(—)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)
(—)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2100 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1850 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1890 ⁺⁰ ₋₅₀)
(—)	(1930 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1930 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1490 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1840 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1620 ⁺⁰ ₋₅₀)	(ｼｬｼで異なる)	(ｼｬｼで異なる)
(—)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
(—) [—]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]
1)ボンプ圧力の測定は特殊治具を必要とし危険が伴うので、ホーラに異常の有無を確認して異常が無ければ省略する。 2)可変式油圧ボンプの場合は斜板を最大に切り換えた状態とする。							
	3)シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 4)締付トルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪(外輪 又は 内輪)のボルト全数交換。						
		5)キャブ上、誤動作防止装置の点検。(PH14-60)		5)96P04以前は34±1	5)フーム制振装置ACCガス封入圧力14MPa(フーム制振装置搭載車のみ)		

適用範囲		モデル名		PQ45-10	PQ45-11	PH65-19B-T	PH65-26B-T
		主仕様	吸吐弁形式	—	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
			最大吐出量	m ³ /h 45 (35)	45 (32)	65 (55)	65 (55)
			最大吐出圧力	MPa 1.8 (2.5)	1.8 (2.5)	1.8 (2.5)	1.8 (2.5)
		アーム最大地上高		m —	—	19	26
		適用号機		97P090001～ 97P*****	06P025006～	07P060001～ 07P*****	07P020001～ 07P*****
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送	ピストンストローク回数	回/min	—	—	—	—
		ロータ回転数	回/min	36±1	36±1	35±1	36±1
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (ｼｬｼで異なる) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (ｼｬｼで異なる) (50±10)	(1560 ⁺⁰ ₋₅₀) (ｼｬｼで異なる) (50±10)	(1280 ⁺⁰ ₋₅₀) 07P02:1127 ⁺⁰ ₋₅₀ 上以外:1059 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)
	かくはん装置	回転速度 チェーンのたわみ	min ⁻¹ mm	28±3 20・チェーン中央	28±3 20・チェーン中央	21±3 20・チェーン中央	30±3 20・チェーン中央
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (ｼｬｼで異なる) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (ｼｬｼで異なる) (50±10)	(1560 ⁺⁰ ₋₅₀) (ｼｬｼで異なる) (50±10)	(1280 ⁺⁰ ₋₅₀) 07P02:1127 ⁺⁰ ₋₅₀ 上以外:1059 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)
		圧力設定値 (設定値到達時間)	MPa (min)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)
	真空ポンプ	圧力降下許容値 (保持時間)	MPa (min)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)
		Vベルトのたわみ	mm	＜電動モータ駆動＞＜電動モータ駆動＞＜電動モータ駆動＞＜電動モータ駆動＞			
	ブーム装置	シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	—	—	0.5 以下
			ブーム (2) シリンダ	mm	—	—	0.5 以下
			ブーム (3) シリンダ	mm	—	—	0.5 以下
			ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	0.5 以下
			ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—
			(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(—) [—]	(—) [—]	(10) [図 No. 1]
		☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	—	—	55±10
			縮み	sec	—	—	75±10
			ブーム (2) 伸び	sec	—	—	55±10
			縮み	sec	—	—	70±10
			ブーム (3) 伸び	sec	—	—	65±10
			縮み	sec	—	—	80±10
	洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	—	—	—
			油圧	MPa	2.5	2.5	2.5
			水圧	m	—	—	—
			飛距離				
			吐出圧力	MPa	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

PH50B-18	PH80A-26C					
スクイーズ	スクイーズ					
50(36)	82(67)					
1.8(2.5)	2.1(2.5)					
18	25.7					
11P09-3006～	19P09-0013～					
検査基準値						
— 40±1	— 29±1					
(2160 ⁺⁰ ₋₅₀) (ｼｬｼで異なる) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1775 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)					
30±3 20・チェーン中央	40±3 20・チェーン中央					
(2160 ⁺⁰ ₋₅₀) (ｼｬｼで異なる) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1775 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)					
0.083 (10分以内)	0.083 (20分以内)					
0.007 (60)	0.007 (60)					
(電動モータ駆動)	—					
0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 —					
(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]					
65±10 65±10	65±10 75±10					
65±10 75±10	75±10 70±10					
45±10 60±10	50±10 90±10					
30±5 35±5	30±10 40±10					
— —	— —					
(2160 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]					
— 2.5 —	— 2.5 —					
—	—					
(—) (—) (—)	— — —					

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PQ45-10	PQ45-11	PH65-19B-T	PH65-26B-T
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
			最大吐出量	m ³ /h	45(35)	45(32)	65(55)
			最大吐出圧力	MPa	1.8(2.5)	1.8(2.5)	1.8(2.5)
			アーム最大地上高	m	—	19	26
		適用号機		97P090001～ 97P*****	06P025006～	07P060001～ 07P*****	07P020001～ 07P*****
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	25.0±1	25.0±1	27.5±1	27.5±1
		弁シリンダ油圧	MPa	—	—	—	—
		かくはんモータ油圧	MPa	8.0±1	8.0±1	8.0±1	10.8±1
		ブーム油圧	MPa	—	—	27.5±1	27.5±1
		ACCガス封入圧力	MPa	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(1560 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(1280 ⁺⁰ ₋₅₀) (07P02:1127 ⁺⁰ ₋₅₀) 上以外:1059 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)
車体・安全装置	☆旋回ベアリング 取付けボルトの 締付け	外輪取付ボルトの 締付トルク	N・m	—	—	325.6±9.8	294±9.8
		内輪取付ボルトの 締付トルク	N・m	—	—	325.6±9.8	294±9.8
		取付ボルトの交換基準	年	—	—	特記 4)	特記 4)
	☆ 旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	—	—	75±10	175±10
		(旋回作動角度)	(度)	(—)	(—)	(360・全旋回)	(360・全旋回)
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(1560 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1280 ⁺⁰ ₋₅₀)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(シャシで異なる)	(07P02:1127 ⁺⁰ ₋₅₀)
		(作動油温度)	(℃)	(—)	(—)	(50±10)	(50±10)
	アウトリガ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面 No.]	(10) [—]	(10) [—]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]
特記事項				1)ボンプ圧力の測定は特殊治具を必要とし危険が伴うのでベレータに異常の有無を確認し異常が無ければ省略する。 2)可変式油圧ボンプの場合は斜板を最大に切り換えた状態とする。 3)シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 4)締付トルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪(外輪 又は 内輪)のボルト全数交換。			
				6)ブレーマ制振装置ACCガス封入圧力14MPa			

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

PH50B-18	PH80A-26C						
スクイーズ	スクイーズ						
50(36)	82(67)						
1.8(2.5)	2.1(2.5)						
18	25.7						
11P09-3006～	19P09-0013～						
検査基準値							
25.0±1	24.5±0.5						
—	—						
8.0±1	9.0±0.5						
27.5±1	27.5±1						
—	—						
(2160 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1775 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)						
325.6±9.8	294±9.8						
325.6±9.8	294±9.8						
特記 4)	特記 5)						
90±10	165±15						
(360・全旋回) (2160 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(360・全旋回) (1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1775 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)						
0.5 以下	0.5 以下						
(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]						
1)ボンプ圧力の測定は特殊治具を必要とし危険が伴うのでベレータに異常の有無を確認し異常が無ければ省略する。 2)可変式油圧ボンプの場合は斜板を最大に切り換えた状態とする。 3)シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 4)締付トルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪(外輪 又は 内輪)のボルト全数交換。							
	6)ブレーマ制振装置ACCガス封入圧力14MPa						

項目	測定方法	計測姿勢
ブームシリンダ 自然降下	アウトリガを最大に張り出し、ブームをまっすぐに伸ばした状態で保持する。各ブームシリンダにダイヤルゲージを取り付け、10分間の自然降下量を計測する。 ブーム先端は先端ホースのみとし、過重は加えない。	図-1 ブームシリンダ自然降下計測姿勢 (下図参照)
アウトリガシリンダ 自然降下	ブームを水平に伸ばし、測定対象のアウトリガの真上に置く。アウトリガにダイヤルゲージを取り付け、10分間の自然降下量を計測する。	図-2 アウトリガシリンダ自然降下計測姿勢 (下図参照)

項目	測定方法	計測姿勢
ブーム旋回 作動速度	アウトリガを最大に張り出し、各ブームシリンダの全ストロークの作動時間をストップウォッチで計測する。	図-3 ブーム作動速度計測姿勢 (下図参照)

項目	測定方法	計測姿勢
ブームシリンダ 自然降下	アウトリガを最大に張り出し、ブームをまっすぐに伸ばした状態で保持する。各ブームシリンダにダイヤルゲージを取り付け、10分間の自然降下量を計測する。 ブーム先端は先端ホースのみとし、過重は加えない。	図-4 ブームシリンダ自然降下計測姿勢 (下図参照)
アウトリガシリンダ 自然降下	ブームを水平に伸ばし、測定対象のアウトリガの真上に置く。アウトリガにダイヤルゲージを取り付け、10分間の自然降下量を計測する。	図-5 アウトリガシリンダ自然降下計測姿勢 (下図参照)

項目	測定方法	計測姿勢
ブーム旋回 作動速度	アウトリガを最大に張り出し、各ブームシリンダの全ストロークの作動時間をストップウォッチで計測する。	図-6 ブーム作動速度計測姿勢 (下図参照)

適用範囲		モデル名		SP-60CB	SP-70CB			
		主仕様	吸吐弁型式	—	平行摺動	平行摺動		
			最大吐出量	m ³ /h	60	70		
			最大吐出圧力	MPa	42.6	42.6		
			7-φ最大地上高	m	16	17		
		適用号機	001～	001～				
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	44±1	45±1		
			ローター回転数	回/min	—	—		
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(2000±50) (—) (50±10)	(2150±50) (—) (50±10)	() (±) (±)	
		攪拌装置	回転速度 チェーンのたわみ	min ⁻¹ mm	39±10 10	39±10 10	±	
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(2000±50) (—) (50±10)	(2150±50) (—) (50±10)	() (±) (±)	
			真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	Pa (min)	— (—)	— (—)	()
	圧力降下許容値 (保持時間)	Pa (min)		— (—)	— (—)	()		
	Vベルトのたわみ	mm		—	—			
	ブルーム装置	シリンダー 自然降下量	ブーム (1) シリンダー	mm	1	1		
			ブーム (2) シリンダー	mm	1	1		
			ブーム (3) シリンダー	mm	1	1		
			ブーム (4) シリンダー	mm	—	—		
			ブーム (5) シリンダー	mm	—	—		
		☆ブルームシリンダー 一 作動時間	(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) (無負荷) [図 No. —]	(10) (無負荷) [図 No. —]	() () [図 No.]	
			ブーム (1) 伸び 縮み	sec sec	50±10 60±10	50±10 60±10	± ±	
			ブーム (2) 伸び 縮み	sec sec	75±10 85±10	75±10 85±10	± ±	
ブーム (3) 伸び 縮み			sec sec	60±10 80±10	60±10 80±10	± ±		
ブーム (4) 伸び 縮み			sec sec	— —	— —	± ±		
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	13.7	13.7			
		油圧 水圧 飛距離	MPa MPa m	4.26 4.26 10	4.26 4.26 10			
	空圧機	吐出圧力	MPa	0.98	0.98			
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(2000±50) (—) (50±10)	(2150±50) (—) (50±10)	() (±) (±)		

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

[illegible]

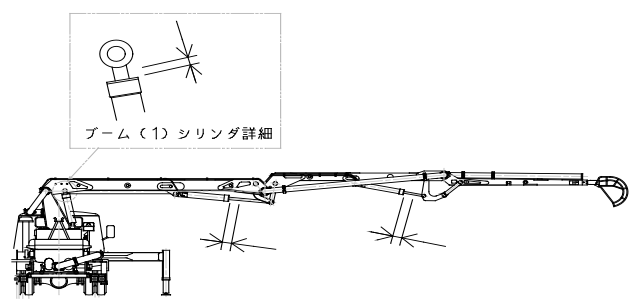
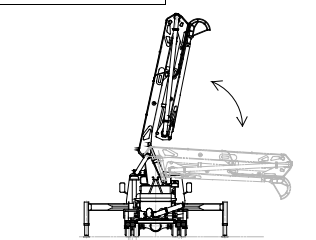
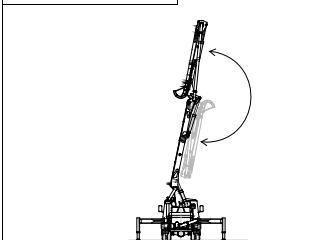
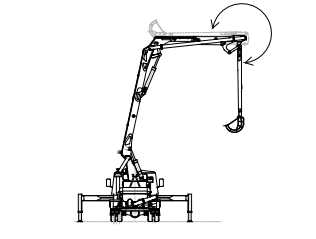
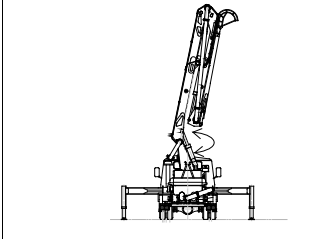
適用範囲		モデル名		SP-60CB	SP-70CB			
		主仕様	吸吐弁型式	—	平行摺動	平行摺動		
			最大吐出量	m ³ /h	60	70		
			最大吐出圧力	MPa	42.6	42.6		
			7- ⁶⁰ m最大地上高	m	16	17		
		適用号機		001～	001～			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	24.5	24.5	±		
		弁シリンダー油圧	MPa	13.7	13.7	±		
		攪拌モータ油圧	MPa	13.7	13.7	±		
		ブーム油圧	MPa	20.6	20.6	±		
		ACCガス封入圧力	MPa	6	—	±		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2200)	()		
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(±)		
	(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(±)			
車体・安全装置	☆旋回ベアリング 取付けボルトの締め付け	外輪取付けボルトの締め付けトルク	N・m	350	350			
		内輪取付けボルトの締め付けトルク	N・m	350	350			
		旋回ボルトの交換基準	年	3	3			
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	40±5	40±5	±		
		(旋回作動角度)	(度)	(90)	(90)	()		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2200)	()		
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(±)		
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(±)		
	☆アウトリガ 自然伸縮量	各垂直シリンダー	mm	1	1			
(測定時間) (作業装置姿勢)		(min) [図面No.]	(10) [図 No. —]	(10) [図 No. —]	() [図 No.]			
特記事項								

42

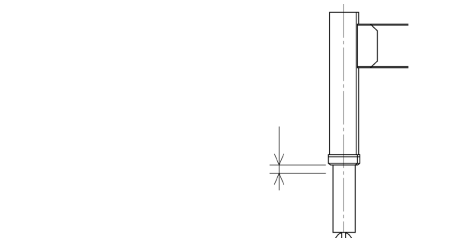
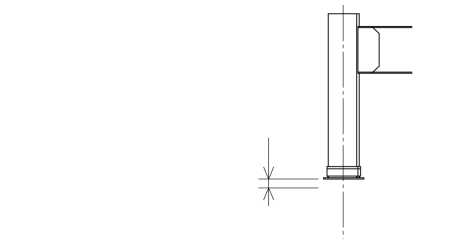
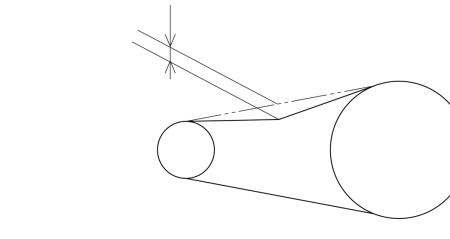
[illegible]

43

シンテック

項目	測定方法	計測姿勢
ブームシリンダー ー 自然降下	ブームはアウトリガーの真上の位置で、ブーム全体を水平に伸ばし10分間での各シリンダーの自然伸縮量を測定する。	図-5 ブームシリンダーの自然伸縮量測定
	 ブーム(1) シリンダ詳細	
ブーム作動時間	No.1シリンダーのフルストロークに要する時間を測定。 図 No. 1 ブーム(1) 作動速度測定 	No.2シリンダーのフルストロークに要する時間を測定。 図 No. 2 ブーム(2) 作動速度測定 
	No.3シリンダーのフルストロークに要する時間を測定。 図 No. 3 ブーム(3) 作動速度測定 	旋回部と固定部にマーキングし旋回に要する時間を測定。 図 No. 4 ブーム(4) 作動速度測定 

コンクリートポンプ車

項目	測定方法	計測姿勢
アウトリガーシリンダー自然伸縮	ブームはアウトリガーの真上の位置で、最大伸長させ10分間にて測定。 (ブームは、最長に伸ばし、アウトリガーの上に位置した状態で測定する)	図 No. 6 アウトリガーシリンダー 自然短縮の測定 
	ジャッキを最短縮させ3分後を基準とし10分間放置した後の値を測定。	図 No. 7 アウトリガーシリンダー 自然伸長の測定 
		図 No. 8 チェーンたわみ量の測定 

適用範囲		モデル名		K23X-4Z	K24X-4Z	33X-4Z	
		主仕様	吸吐弁型式	—	DSバルブ	DSバルブ	Sバルブ
			最大吐出量	m ³ /h	66	120	120
			最大吐出圧力	MPa	8	8	7/11
			7- m最大地上高	m	23.1	23.1	32.6
適用号		機		K16273A015～	K16273A019～	K16218A012～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	21	23	23/15
			ローター回転数	回/min			
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2350±50)	(2350±50)	(2300±50)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1550±50)	(1550±50)	(1450±50)
	(作動油温度)		(℃)	(40±)	(40±)	(40±)	
	攪拌装置		回転速度	min ⁻¹	30±1	30±1	30±1
			チェーンのたわみ	mm			
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2350±50)	(2350±50)	(2300±50)
	(エンジン回転数)		(min ⁻¹)	(1550±50)	(1550±50)	(1450±50)	
	(作動油温度)		(℃)	(40±)	(40±)	(40±)	
	真空ポンプ		圧力設定値 (設定値到達時間)	Pa (min)	()	()	()
			圧力降下許容値 (保持時間)	Pa (min)	()	()	()
			Vベルトのたわみ	mm			
	ブルーム装置	シリンダー 自然降下量	ブーム (1) シリンダー	mm	2以下	2以下	2以下
			ブーム (2) シリンダー	mm	2以下	2以下	2以下
			ブーム (3) シリンダー	mm	2以下	2以下	2以下
			ブーム (4) シリンダー	mm	2以下	2以下	2以下
			ブーム (5) シリンダー	mm	2以下	2以下	2以下
		☆ブームシリンダー 作動時間	(測定時間)	(min)	(15)	(15)	(15)
			(作動計測条件)	()	()	()	
(作業装置姿勢)			[図面No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]	
ブーム (1) 伸び			sec	45±10%	45±10%	65±10%	
			縮み	sec	45±10%	45±10%	75±10%
ブーム (2) 伸び			sec	30±10%	30±10%	45±10%	
			縮み	sec	30±10%	30±10%	45±10%
ブーム (3) 伸び	sec	20±10%	20±10%	30±10%			
	縮み	sec	20±10%	20±10%	30±10%		
ブーム (4) 伸び	sec	10±10%	10±10%	15±10%			
	縮み	sec	10±10%	10±10%	15±10%		
ブーム (5) 伸び	sec						
	縮み	sec					
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2350±50)	(2350±50)	(2300±50)		
	(作動油温度)	(℃)	(40±)	(40±)	(40±)		
	(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]		
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa				
		水圧 飛距離	MPa m				
	空圧機	吐出圧力	MPa	0,7	0,7	0,7	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2350±50)	(2350±50)	(2300±50)	
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1550±50)	(1550±50)	(1450±50)		
	(作動油温度)	(℃)	(40±)	(40±)	(40±)		

46

[illegible]

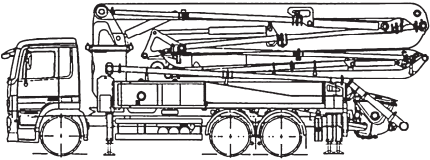
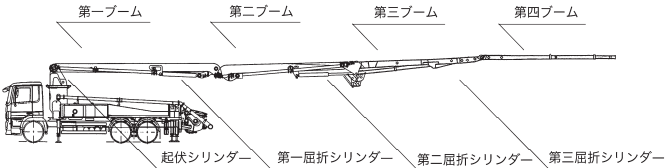
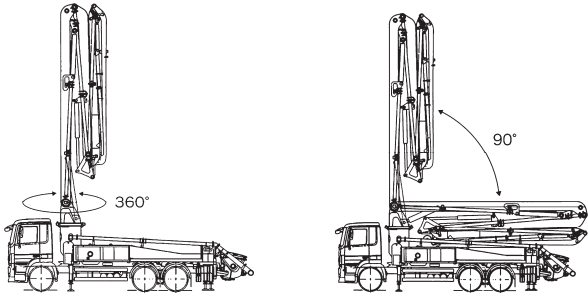
適用範囲		モデル名		K23X-4Z	K24X-4Z	33X-4Z		
		主仕様	吸吐弁型式	一	DSバルブ	DSバルブ	Sバルブ	
			最大吐出量	m ³ /h	66	120	120	
			最大吐出圧力	MPa	8	8	7/11	
			7-1最大地上高	m	23.1	23.1	32.6	
		適用号機		K16273A015～	K16273A019～	K16218A012～		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	32	32	35		
		弁シリンダー油圧	MPa	32	32	35		
		攪拌モーター油圧	MPa	13	13	13		
		ブーム油圧	MPa	36	36	36		
		ACCガス封入圧力	MPa					
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2350)	(2350)	(2300)		
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1550)	(1550)	(1450)		
	(作動油温度)	(℃)	(40±)	(40±)	(40±)			
車体・装置	☆旋回ベアリング 取付けボルトの締め付け	外輪取付けボルトの締め付けトルク	N・m	300	300	1200		
		内輪取付けボルトの締め付けトルク	N・m	300	300	1200		
		旋回ボルトの交換基準	年	注1	注1	注1		
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	120±	120±	200±		
		(旋回作動角度)	(度)	(270)	(270)	(270)		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2350)	(2350)	(2300)		
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1550)	(1550)	(1450)		
		(作動油温度)	(℃)	(40±)	(40±)	(40±)		
	アウトリガ 自然伸縮量	各垂直シリンダー	mm	2	2	2		
(測定時間)		(min)	(15)	(15)	(15)			
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]		
特記事項				旋回ベアリング取付けボルトの中で1本でも緩み(新車基準トルク以下)、折損、脱落がある場合は外輪、内輪とも全数交換する				

48

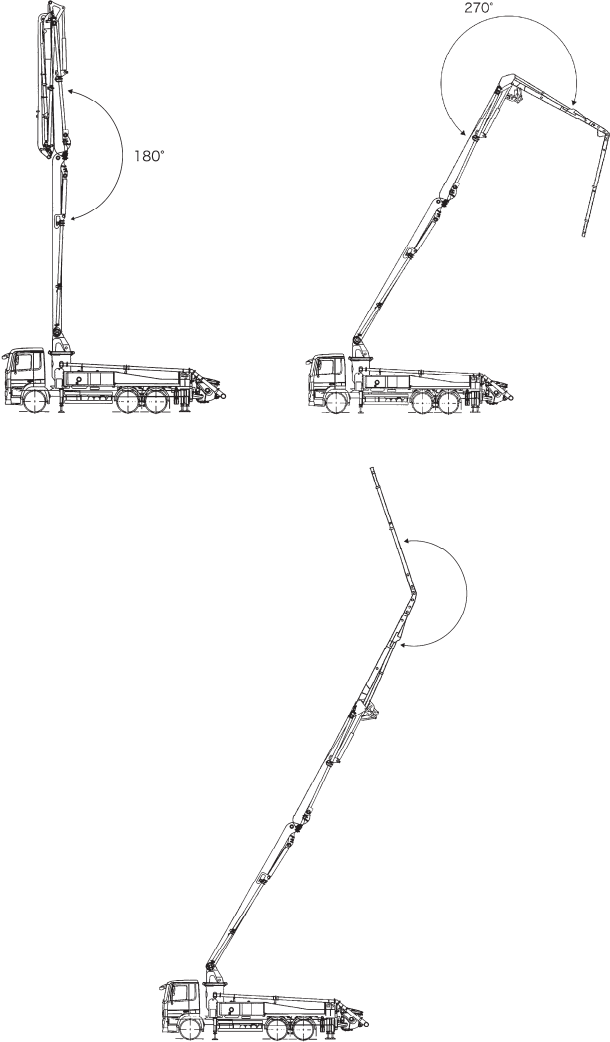
[illegible]

49

ズームライオン・ジャパン

項目	測定方法	計測姿勢
アウトリガー シリンダー 自然降下		
ブーム シリンダー 自然降下		
ブーム旋回 作動速度		

コンクリートポンプ車

項目	測定方法	計測姿勢
ブーム シリンダー 作動速度		

大ー・テクノ

コンクリートポンプ車

適用範囲		モデル名		DCP-35SL-C	DCP-35SL-B	DCP-35SL	DCP-30G	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
			最大吐出量	m ³ /h	35	35	35	30
			最大吐出圧力	MPa	1.6	1.6	1.6	1.5
			アーム最大地上高	m	14	14	14	14.5
		適用号機		いすゞ46000～ 日野45000～	いすゞ43000～ 日野44000～	41001～	72001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	—	—	—	—
			ロータ回転数	回/min	34	34	34	30
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
			(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
	かくはん装置	回転速度 チェーンのたわみ	min ⁻¹	mm	60±5 (40±5 H22.12～) 15	60±5 (40±5 H22.12～) 15	60±5 (40±5 H22.12～) 15	60±5 15
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
			(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
			真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	Pa (min)	(—)	(—)	(—)
	圧力降下許容値 (保持時間)	Pa (min)			—	—	—	—
	Vベルトのたわみ	mm		—	—	—	—	
	ブーム装置	シリンド 自然降下量	ブーム (1) シリンド	mm	1.5	1.5	1.5	1.5
			ブーム (2) シリンド	mm	1.5	1.5	1.5	1.5
			ブーム (3) シリンド	mm	1.5	1.5	1.5	1.5
			ブーム (4) シリンド	mm	2	2	2	—
			ブーム (5) シリンド	mm	—	—	—	—
(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)			(min) [図面No.]	(10) [図 No. 1, 2]	(10) [図 No. 1]	(10) [図 No. 1, 2]	(10) [図 No. 1]	
☆ブームシリンド 作動時間		ブーム (1) 伸び 縮み	sec sec	— —	— —	— —	— —	
		ブーム (2) 伸び 縮み	sec sec	— —	— —	— —	— —	
		ブーム (3) 伸び 縮み	sec sec	— —	— —	— —	— —	
		ブーム (4) 伸び 縮み	sec sec	— —	— —	— —	— —	
		ブーム (5) 伸び 縮み	sec sec	— —	— —	— —	— —	
		(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	(min ⁻¹) [図面No.]	(—) [図 No.]	(—) [図 No.]	(—) [図 No.]	(—) [図 No.]	
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	—	—	—	—	
		油圧 水压 飛距離	MPa m	0.125 —	0.125 —	0.125 —	0.125 —	
	空圧機	吐出圧力	MPa	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

DCP-30KL	DCP-40G	DCP-40KL	DCP-40ML	DCP-X40	DCP-X40S	DCP-45ML	DCP-X45
スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
30	40	40	40	40	40	45	45
1.5	1.6	1.6	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
17	14.5	17	17	18.5	17	17	18.5
73001～	82001～	83001～	84000～	84100～	86001～	32000～	32040～
検 査 基 準 値							
—	—	—	—	—	—	—	—
30	37	37	37	37	37	38	38
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
60±5	60±5	60±5	60±5	60±5	60±5	60±5	60±5
15	15	15	15	15	15	15	15
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
—	—	—	—	—	—	—	—
1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
2	—	2	2	2	2	2	2
—	—	—	—	—	—	—	—
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]
—	—	—	—	—	—	—	—
0.125	0.125	0.125	0.125	0.125	0.125	0.125	0.125
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)

適 用 範 囲		モ デ ル 名		DCP-35SL-C	DCP-35SL-B	DCP-35SL	DCP-30G
		主仕様	吸 吐 弁 型 式	—	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
			最 大 吐 出 量	m ³ /h	35	35	30
			最 大 吐 出 圧 力	MPa	1.6	1.6	1.5
		アーム最大地上高		m	14	14	14.5
適 用 号 機				いすゞ46000～ 日野45000～	いすゞ43000～ 日野44000～	41001～	72001～
区 分	検 査 箇 所	検 査 項 目 (条件)		単 位	検 査 基 準 値		
油 圧 装 置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧		MPa	20	20	20
		弁シリンダ油圧		MPa	—	—	—
		かくはんモータ油圧		MPa	7	7	7
		プ ー ム 油 圧		MPa	20	20	18.5
		ACC ガス封入圧力		MPa	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)		(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)		(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)
		(作 動 油 温 度)		(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
車 体 ・ 装 置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締め付け	外輪取付けボルトの 締め付けトルク		N・m	485.5～534.5	485.5～534.5	485.5～534.5
		内輪取付けボルトの 締め付けトルク		N・m	343.4～382.6	343.4～382.6	343.4～382.6
		旋回ボルトの交換基準		年	注 1	注 1	注 1
	☆ 旋回作動速度	旋 回 速 度		sec	—	—	—
		(旋 回 作 動 角 度)		(度)	(—)	(—)	(—)
		(油圧ポンプ回転数)		(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)		(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)
		(作 動 油 温 度)		(℃)	(—)	(—)	(—)
	☆ シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ		mm	1	1	1
		(測 定 時 間)		(min)	(10)	(10)	(10)
			(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]
特 記 事 項					注 1) 旋回ベアリング取付ボルトの中で 1 本でも緩み (新車 基準トルク以下)、折損、脱落、がある場合は外輪、 内輪とも全数交換する。		

☆印：新車基準値を表す (参考値)。

DCP-30KL	DCP-40G	DCP-40KL	DCP-40ML	DCP-X40	DCP-X40S	DCP-45ML	DCP-X45
スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
30	40	40	40	40	40	45	45
1.5	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	1.7	1.7
17	14.5	17	17	18.5	17	17	18.5
73001～	82001～	83001～	84000～	84100～	86001～	32000～	32040～
検 査 基 準 値							
20	21	21	21	23	23	24.5	24.5
—	—	—	—	—	—	—	—
7	7	7	7	7	7	7	7
20	18.5	20	20	20	20	20	20
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
485.5～534.5	485.5～534.5	485.5～534.5	485.5～534.5	436～485	436～485	485.5～534.5	436～485
343.4～382.6	343.4～382.6	343.4～382.6	343.4～382.6	436～485	436～485	343.4～382.6	436～485
注 1	注 1	注 1	注 1	注 1	注 1	注 1	注 1
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
1	1	1	1	1	1	1	1
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]
注 1) 旋回ベアリング取付ボルトの中で 1 本でも緩み (新車 基準トルク以下)、折損、脱落、がある場合は 外輪、内輪とも全数交換する。							

大ー・テクノ

適 用 範 囲		モ デ ル 名		DCP-X45S	DCP-50KL	DCP-50ML	DCP-X50
		主仕様	吸 吐 弁 型 式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ
			最 大 吐 出 量	m ³ /h	45	50	50
			最 大 吐 出 圧 力	MPa	1.7	1.6	1.7
			アーム最大地上高	m	17	17	18.5
		適 用 号 機		34501～	90215～	91000～	91030～
区 分	検 査 箇 所	検 査 項 目 (条件)	単 位				
業 装 置	圧 送 装 置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回／min	—	—	—
			ロータ回転数	回／min	38	38	38
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(±)
		かくはん装置	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)
			(作 動 油 温 度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
			回 転 速 度	min ⁻¹	60±5	60±5	60±5
	真 空 ポ ン プ	チェーンのたわみ		mm	(40±5 H22.12～) 15	60±5 15	(40±5 H22.12～) 15
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)
		圧 力 設 定 値 (設定値到達時間)		Pa (min)	(—)	(—)	(—)
			圧力降下許容値 (保 持 時 間)	Pa (min)	(—)	(—)	(—)
			Vベルトのたわみ	mm	—	—	—
業 装 置	シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ ブーム (2) シリンダ ブーム (3) シリンダ ブーム (4) シリンダ ブーム (5) シリンダ	mm	1.5	1.5	1.5	1.5
			mm	1.5	1.5	1.5	1.5
			mm	1.5	1.5	1.5	1.5
			mm	2	2	2	2
			mm	—	—	—	—
		(測 定 時 間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min)	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]
	☆ ブームシリンダ 作動時間	ブ ー ム (1) 伸 び 縮 み	sec	—	—	—	—
			sec	—	—	—	—
			sec	—	—	—	—
			sec	—	—	—	—
			sec	—	—	—	—
		ブ ー ム (5) 伸 び 縮 み	sec	—	—	—	—
業 装 置	水 ポ ン プ (配管洗浄用)	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
			(℃)	(—)	(—)	(—)	(—)
			(作 動 油 温 度)	(℃)	(—)	(—)	(—)
			(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]
			MPa	—	—	—	—
		0.125	0.125	0.125	0.125	0.125	0.125
業 装 置	空 圧 機	飛距離	m	—	—	—	—
			MPa	—	—	—	—
			MPa	—	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)
			(作 動 油 温 度)	(℃)	(—)	(—)	(—)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

DCP-X50S							
スクイズ							
50							
1.7							
17							
92501～							
検 査 基 準 値							
—							
38							
(—)							
(2000)							
(50 ± 5)							
60±5							
(40±5 H22.12～) 15							
(—)							
(2000)							
(50 ± 5)							
—							
(—)							
—							
(—)							
—							
1.5							
1.5							
1.5							
2							
—							
(10)							
[図 No. 1, 2]							
—							
—							
—							
—							
—							
—							
—							
(—)							
(—)							
[図 No.]							
—							
0.125							
—							
—							
(—)							
(—)							
(—)							

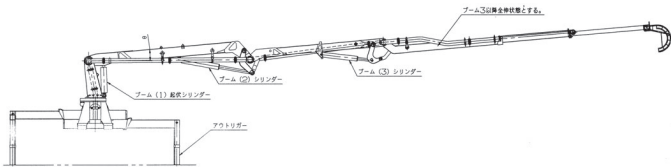
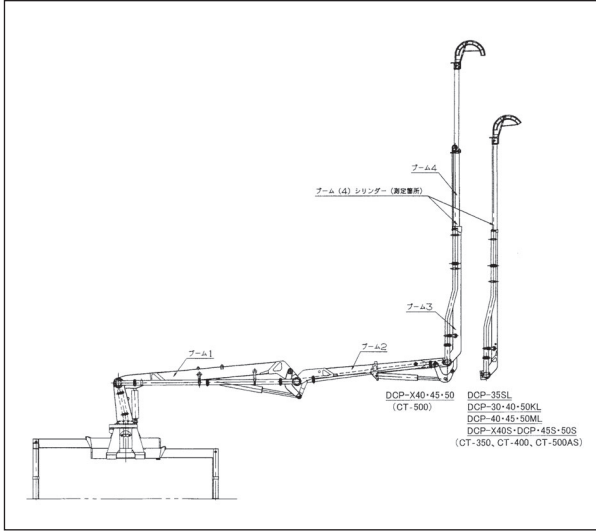
大 一 ・ テ ク ノ

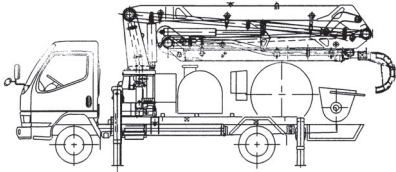
適 用 範 囲		モ デ ル 名		DCP-X45S	DCP-50KL	DCP-50ML	DCP-X50
		主仕様	吸 吐 弁 型 式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ
			最 大 吐 出 量	m ³ /h	45	50	50
			最 大 吐 出 圧 力	MPa	1.7	1.6	1.7
			アーム最大地上高	m	17	17	18.5
		適 用 号 機		34501～	90215～	91000～	91030～
区 分	検 査 箇 所	検 査 項 目 (条件)	単 位	検 査 基 準 値			
油 圧 装 置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	24.5	20	20	21
		弁シリンダ油圧	MPa	—	—	—	—
		かくはんモータ油圧	MPa	7	7	7	7
		プ ー ム 油 圧	MPa	20	20	20	20
		ACC ガス封入圧力	MPa	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
車 体 ・ 装 置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締め付け	外輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	436～485	485.5～534.5	436～485	436～485
		内輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	436～485	343.4～382.6	436～485	436～485
		旋回ボルトの交換基準	年	注 1	注 1	注 1	注 1
	☆ 旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	—	—	—	—
		(旋回作動角度)	(度)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作 動 油 温 度)	(℃)	(—)	(—)	(—)	(—)
	☆ アウトリガー	各垂直シリンダ	mm	1	1	1	1
		(測 定 時 間)	(min)	(10)	(10)	(10)	(10)
	自然伸縮量	(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]
特 記 事 項				注 1) 旋回ベアリング取付ボルトの中で 1 本でも緩み (新車 基準トルク以下) 、 折損、脱落、がある場合は外輪、内輪とも 全数交換する。			

☆印：新車基準値を表す (参考値)。

コンクリートポンプ車

DCP-X50S							
スクイズ							
50							
1.7							
17							
92501～							
検 査 基 準 値							
21							
—							
7							
20							
—							
(—)							
(2000)							
(50 ± 5)							
436～485							
436～485							
注 1							
—							
(—)							
(—)							
(—)							
(—)							
1							
(10)							
[図 No. 3]							

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブームシリンダー ー 自然降下	(1)測定条件にセット後エンジンを停止して各操作レバーを操作してアクチュエーターの圧抜きを行う。 (2)圧抜きから10分経過後、測定を開始する。指定測定条件にて10分間保持する。 (3)シリンダーロッド縮み量を測定する（ブームシリンダー(4)はブーム縮み量を測定） 注意：シリンダーロッド（ブーム）にマーカで目印をつけて、寸法を測定する。この際シリンダーロッドを傷つけないように、十分に注意すること。	図－1 ブームシリンダー(1)～(3)の測定条件 (1)ブームは全伸長とする。 (2)起伏角度が 2° ～5° とする。 (3)ブーム方向は車輪後方とする。 (4)油温は 50° ±5 とする。
		
	図－2 ブームシリンダー(4)の測定条件 (1)ブーム 4 は全伸長とする。 (2)ブーム 3 角度を垂直にする。 (3)ブーム方向は車輪後方とする。 (4)油温は 50° ±5 とする。	
		

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
アウトリガーシリンダー 自然降下	(1)測定条件にセット後エンジンを停止して各操作レバーを操作してアクチュエーターの圧抜きを行う。 (2)圧抜きから5分経過後、測定を開始する。指定測定条件にて10分間保持する。 (3)ジャッキシリンダー（縦箱）の縮小量を測定する。 注意：シリンダーロッド（縦箱）にマーカで目印をつけて、寸法を測定する。この際シリンダーロッドを傷つけないように、十分に注意すること。	図－3 アウトリガーシリンダーの測定条件 (1)ブームは走行姿勢とする。 (2)各アウトリガーを最大に張り出す。 (3)作動油温度は 50° ±5° とする。
		

プツマイスタージャパン

適 用 範 囲		モ デ ル 名		BSF2107HP	BSF2107HP	BSF28. 16H	BSF36. 15H
		主仕様	吸 吐 弁 型 式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大 吐 出 量	m ³ /h	69(47)	69(47)	160(108)
			最大 吐 出 圧 力	MPa	15(22)	15(22)	8. 5(13)
			ブーム最大地上高	m	—	—	28
		適 用 号 機		21970105302～	2199010305～	210101006～	2197010001～
区 分	検 査 箇 所	検 査 項 目 (条件)	単 位	検 査 基 準 値			
作 業 装 置	圧 送 装 置	ボ ン プ 本 体	ピストンストローク回数	回／min	18	18	30
			ロ ー タ 回 転 数	回／min	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2800)	(2670)	(2600)
		かくはん装置	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1900±50)	(1800±50)	(1760±50)
			(作 動 油 温 度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
			(作 動 油 温 度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
	真 空 ポ ン プ	回 転 速 度 チェーンのたわみ	mm	min ⁻¹	42±1	40±1	39±1
			mm	—	—	—	40 ± 1
			mm	—	—	—	—
		圧 力 設 定 値 (設定値到達時間)	Pa	(min)	(—)	(—)	(—)
			Pa	(min)	(—)	(—)	(—)
			Pa	(min)	(—)	(—)	(—)
装 置	シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ ブーム (2) シリンダ ブーム (3) シリンダ ブーム (4) シリンダ ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	1. 5 以下	1. 5 以下
			mm	—	—	1. 5 以下	1. 5 以下
			mm	—	—	1. 5 以下	1. 5 以下
			mm	—	—	1. 5 以下	1. 5 以下
			mm	—	—	1. 5 以下	1. 5 以下
			mm	—	—	1. 5 以下	1. 5 以下
	☆ ブームシリンダ 作動時間	ブ ー ム (1) 伸 び 縮 み ブ ー ム (2) 伸 び 縮 み ブ ー ム (3) 伸 び 縮 み ブ ー ム (4) 伸 び 縮 み ブ ー ム (5) 伸 び 縮 み	(測定 時 間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min)	(—) (—)	(—) (—)	(10) (—)
			[図面No.]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]
			sec	—	—	63±10	70±10
			sec	—	—	66±10	95±10
			sec	—	—	94±10	95±10
			sec	—	—	95±10	95±10
洗 浄 装 置	水 ポ ン プ (配管洗浄用)	油 圧 水 圧 飛距離	MPa	—	—	—	—
			MPa	—	—	—	—
			m	—	—	—	—
	空 圧 機	吐 出 圧 力	MPa	—	0. 7	0. 7	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(2670)	(2600)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(1800±50)	(1760±50)
			(作 動 油 温 度)	(℃)	(—)	(50±10)	(50±10)
			(作 動 油 温 度)	(℃)	(—)	(50±10)	(50±10)
			(作 動 油 温 度)	(℃)	(—)	(50±10)	(50±10)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。 注－1：高速モード

コンクリートポンプ車

BSF36. 15H	BSF36. 15H	BSF36. 16H	BSF42. 16H	BSF46. 16H	BSF52. 15H	BSF52. 16H	BSF20. 07H
揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁
150	150	160	160	160	150	160	75(100)
8. 5	8. 5	8. 5	8. 5	8. 5	8. 5	8. 5	8. 5(5. 7)
36(巻込式)	36(乙式)	36(乙式)	42	46	52	52	20
210100341～	210100936～	210101172～	2199010326～	210102285～	2195010001～	210101985～	210103197～
検 査 基 準 値							
28	28	30	30	30	28	30	28
—	—	—	—	—	—	—	—
(2750) (1500±50) (50±10)	(2700) (1530±50) (50±10)	(2700) (1530±50) (50±10)	(2595) (1710±50) (50±10)	(2665) (1800±50) (50±10)	(2600) (1750±50) (50±10)	(2680) (1800±50) (50±10)	(2490) (2000±50) (50±10)
41±1	40±1	40±1	39±1	40±1	40±1	40±1	37 ± 1
—	—	—	—	—	—	—	—
(2750) (1500±50) (50±10)	(2700) (1530±50) (50±10)	(2700) (1530±50) (50±10)	(2595) (1710±50) (50±10)	(2665) (1800±50) (50±10)	(2600) (1750±50) (50±10)	(2680) (1800±50) (50±10)	(2490) (2000±50) (50±10)
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
—	—	—	—	—	—	—	—
1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下	1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下	1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下	1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下	1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下	1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下	1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下	1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下 1. 5 以下
(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. -]	(10) (—) [図 No. -]	(10) (—) [図 No. -]	(10) (—) [図 No. 1]
70±10 71±10	78±10 81±10	82±10 82±10	87±10 97±10	89±10 95±10	103±10 110±10	119±10 117±10	36±5 36±5
95±10 98±10	102±10 102±10	96±10 96±10	117±10 140±10	131±10 141±10	157±10 170±10	154±10 154±10	44±7 44±7
65±10 66±10	85±10 86±10	85±10 85±10	78±10 83±10	103±10 106±10	175±10 190±10	160±10 162±10	41±6 41±6
45±10 46±10	51±10 58±10	55±10 59±10	55±10 61±10	93±10 96±10	80±10 85±10	80±10 83±10	20±3 20±3
—	—	—	—	45±10 46±10	60±10 65±10	56±10 56±10	— —
(2750) (50±10) [図 No. 2]	(2700) (50±10) [図 No. 2]	(2700) (50±10) [図 No. 2]	(2595) (50±10) [図 No. 2]	(2665) (50±10) [図 No. -]	(2600) (50±10) [図 No. -]	(2680) (50±10) [図 No. -]	(2490) (50±10) [図 No. -]
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
0. 7	0. 7	0. 7	—	—	—	—	—
(2750) (1500±50) (50±10)	(2700) (1530±50) (50±10)	(2700) (1530±50) (50±10)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(2680) (1800±50) (50±10)	(—) (—) (—)

プツマイスタージャパン

適 用 範 囲		モ デ ル 名		BSF2107HP	BSF2107HP	BSF28. 16H	BSF36. 15H
		主仕様	吸 吐 弁 型 式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最 大 吐 出 量	m ³ /h	69 (47)	69 (108)	150
			最 大 吐 出 圧 力	MPa	15 (22)	8. 5 (13)	8. 5
			アーム最大地上高	m	—	28	36
		適 用 号 機		21970105302～	2199010305～	210101006～	2197010001～
区 分	検 査 箇 所	検 査 項 目 (条件)		単 位	検 査 基 準 値		
油 圧 装 置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧		MPa	36±1	36±1	35±1
		弁シリンダ油圧		MPa	19±1	19±1	25±1
		かくはんモータ油圧		MPa	16±1	16±1	25±1
		プ ー ム 油 圧		MPa	—	35±1	35±1
		ACC ガス封入圧力		MPa	9±0. 5	9±0. 5	9±0. 5
		(油圧ポンプ回転数)		(min ⁻¹)	(2800)	(2670)	(2600)
		(エンジン回転数)		(min ⁻¹)	(1900±50)	(1800±50)	(1750±50)
車 体 ・ 装 置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締め付け	外輪取付けボルトの 締め付けトルク		N・m	—	—	—
		内輪取付けボルトの 締め付けトルク		N・m	—	—	—
		旋回ボルトの交換基準		年	—	—	—
	☆ 旋回作動速度	旋 回 速 度		sec	—	—	103±15
		(旋回作動角度)		(度)	(—)	(—)	(360)
		(油圧ポンプ回転数)		(min ⁻¹)	(—)	(—)	(2600)
		(エンジン回転数)		(min ⁻¹)	(—)	(—)	(1760±50)
		(作 動 油 温 度)		(℃)	(—)	(—)	(50±10)
	アウ トリ ガ ー	シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ		mm	1. 0以下	1. 0以下
			(測 定 時 間) (作業装置姿勢)		(min) [図面 No.]	(10) [図 No. —]	(10) [図 No. —]
特 記 事 項							

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

BSF36. 15H	BSF36. 15H	BSF36. 16H	BSF42. 16H	BSF46. 16H	BSF52. 15H	BSF52. 16H	BSF20. 07H
揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁
150	150	160	160	160	150	160	75 (100)
8. 5	8. 5	8. 5	8. 5	8. 5	8. 5	8. 5	8. 5 (5. 7)
36 (巻込式)	36 (Z 式)	36 (Z 式)	42	46	52	52	20
210100341～	210100936～	210101172～	2199010326～	210102285～	2195010001～	210101985～	210103197～
検 査 基 準 値							
32±1	34±1	36±1	36±1	36±1	35±1	36±1	33±1
19±1	19±1	19±1	19±1	19±1	25±1	19±1	19±1
16±1	16±1	16±1	16±1	16±1	25±1	16±1	16±1
35±1	35±1	35±1	35±1	35±1	35±1	35±1	33±4
9±0. 5	9±0. 5	9±0. 5	9±0. 5	9±0. 5	9±0. 5	9±0. 5	9±0. 5
(2750)	(2700)	(2700)	(2595)	(2665)	(2600)	(2680)	(2490)
(1500±50)	(1530±50)	(1530±50)	(1710±50)	(1800±50)	(1750±50)	(1800±50)	(2000±50)
(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
—	—	—	880	880	1750	1750	265
—	—	—	880	880	1750	1750	265
—	—	—	注 1	注 1	注 1	注 1	注 1
140±15	135±15	133±15	160±15	177±15	220±15	218±15	68±10
(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(365)
(2750)	(2700)	(2700)	(2595)	(2665)	(2600)	(2680)	(2490)
(1500±50)	(1530±50)	(1530±50)	(1710±50)	(1800±50)	(1750±50)	(1800±50)	(20000±50)
(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
1. 0 以下	1. 0 以下	1. 0 以下	1. 0 以下	1. 0 以下	1. 0 以下	1. 0 以下	1. 0以下
(10) [図 No. —]	(10) [図 No. —]	(10) [図 No. —]	(10) [図 No. —]	(10) [図 No. —]	(10) [図 No. —]	(10) [図 No. —]	(10) [図 No. —]

適用範囲		モデル名		BSF24. 11H	BSF32-4. 16H	BSF36-4. 16H	BSF38-5. 16H		
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	
			最大吐出量	m ³ /h	110	160(108)	160	160	
			最大吐出圧力	MPa	7.8	8.5(13)	8.5	8.5	
		7 ^{アーム} 最大地上高	m	24	32	36	38		
		適用号機		214402075～	210107559～	214400765～	214400929～		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値					
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	30	30	30	30	
			ロータ回転数	回/min	—	—	—	—	
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(2360) (1550±50) (50±10)	(2620) (1720±50) (50±10)	(2620) (1720±50) (50±10)	(2620) (1720±50) (50±10)	
		かくはん装置	回転速度 チェーンのたわみ	min ⁻¹ mm	35±1 —	38±1 —	38±1 —	38±1 —	
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(2360) (1550±50) (50±10)	(2620) (1720±50) (50±10)	(2620) (1720±50) (50±10)	(2620) (1720±50) (50±10)	
			真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	Pa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
	圧力降下許容値 (保持時間)	Pa (min)		— (—)	— (—)	— (—)	— (—)		
	Vベルトのたわみ	mm		—	—	—	—		
	産業装置	ブリーム	シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	1.5 以下	1.5 以下	1.5 以下	1.5 以下
				ブーム (2) シリンダ	mm	1.5 以下	1.5 以下	1.5 以下	1.5 以下
				ブーム (3) シリンダ	mm	1.5 以下	1.5 以下	1.5 以下	1.5 以下
				ブーム (4) シリンダ	mm	1.5 以下	1.5 以下	1.5 以下	1.5 以下
				ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—
			(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	
		☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	60±10	65±10	80±10	70±10	
			縮み	sec	60±10	65±10	80±10	70±10	
			ブーム (2) 伸び	sec	70±10	90±10	100±10	100±10	
			縮み	sec	70±10	90±10	100±10	100±10	
ブーム (3) 伸び			sec	75±10	80±10	90±10	80±10		
縮み			sec	75±10	80±10	90±10	80±10		
圧縮機	ブーム (4) 伸び	sec	55±10	60±10	60±10	75±10			
	縮み	sec	55±10	60±10	60±10	75±10			
	ブーム (5) 伸び	sec				60±10			
	縮み	sec				60±10			
	(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	(min ⁻¹) (℃) [図面No.]	(2360) (50±10) [図 No. 2]	(2620) (50±10) [図 No. 2]	(2620) (50±10) [図 No. 2]	(2620) (50±10) [図 No. 2]			
	洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	—	—	—	—	
油圧 水圧 飛距離			MPa m	— —	— —	— —	— —		
空圧機		吐出圧力	MPa	—	—	—	—		
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)		

66

BSF2110HP							
揺動弁							
106(69)							
15(22)							
—							
210106278～							
検 査 基 準 値							
26 —							
(2450) (1610±50) (50±10)							
36±1 —							
(2450) (1610±50) (50±10)							
— (—) — (—)							
—							
— — — — —							
(—) (—)							
— —							
— —							
— —							
— —							
(—) (—)							
— — —							
—							
(—) (—) (—)							

67

プツマイスタージャパン

適 用 範 囲		モ デ ル 名		BSF24. 11H	BSF32-4. 16H	BSF36-4. 16H	BSF38-5. 16H
		主仕様	吸 吐 弁 型 式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最 大 吐 出 量	m ³ /h	110	160 (108)	160
			最 大 吐 出 圧 力	MPa	7. 8	8. 5 (13)	8. 5
			アーム最大地上高	m	24	32	38
適 用 号 機				214402075～	210107559～	214400765～	214400929～
区 分	検 査 箇 所	検 査 項 目 (条件)	単 位	検 査 基 準 値			
油 圧 装 置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	36±1	36±1	36±1	36±1
		弁シリンダ油圧	MPa	19±1	19±1	19±1	19±1
		かくはんモータ油圧	MPa	16±1	11±1	11±1	11±1
		プ ー ム 油 圧	MPa	35±1	35±1	35±1	35±1
		ACC ガス封入圧力	MPa	9±0. 5	9±0. 5	9±0. 5	9±0. 5
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2360)	(2620)	(2620)	(2620)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1550±50)	(1720±50)	(1720±50)	(1720±50)
車 体 ・ 装 置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締め付け	外輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	—	300Nm+120°	300Nm+120°	300Nm+120°
		内輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	—	300Nm+120°	300Nm+120°	300Nm+120°
		旋回ボルトの交換基準	年	—	注 2	注 2	注 2
	☆ 旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	95±15	155±15	160±15	160±15
		(旋回作動角度)	(度)	(360)	(360)	(360)	(360)
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2360)	(2620)	(2620)	(2620)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1550±50)	(1720±50)	(1720±50)	(1720±50)
	アウ トリ ガ ー	各垂直シリンダ	mm	1. 0 以下	1. 0 以下	1. 0 以下	1. 0 以下
		(測 定 時 間)	(min)	(10)	(10)	(10)	(10)
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. —]	[図 No. —]	[図 No. —]	[図 No. —]
特 記 事 項				注 2 : 旋回ベアリング取付ボルトの中で緩み、折損、脱落がある場合は、そのボルトと両隣各 2 本のボルトを交換する。また交換する際は指定する回転角締結法に従うこと。			

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

BSF2110HP							
揺動弁							
106 (69)							
15 (22)							
—							
210106278～							
検 査 基 準 値							
36±1							
19±1							
16±1							
—							
9±0. 5							
(2450) (1610±50) (50±10)							
—							
—							
—							
—							
1. 0 以下							
(10) [図 No. —]							

適用範囲		モデル名		BSF2110HP	BSF28-4. 16H	BSF46-5. 16H	BSF33-4. 16H		
		仕仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	
			最大吐出量	m ³ /h	106 (69)	160 (108)	160	106 (108)	
			最大吐出圧力	MPa	15 (22)	8. 5 (13)	8. 5	8. 5 (13)	
		7”最大地上高	m	—	28	46	33		
		適用号機		210110244～	214403435～	210110249～	214403439～		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値					
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	26	30 (20)	30	30 (20)	
			ロータ回転数	回/min	—	—	—	—	
		かくはん装置	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2585)	(2620)	(2610)	(2620)	
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1720±50)	(1580±50)	(1720±50)	(1720±50)	
			(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
			回転速度	min ⁻¹	42±1	38±1	41±1	37±1	
	真空ポンプ	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2585)	(2620)	(2610)	(2620)		
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1720±50)	(1580±50)	(1720±50)	(1720±50)	
		圧力設定値 (設定値到達時間)	Pa (min)	—	—	—	—		
			圧力降下許容値 (保持時間)	Pa (min)	—	—	—	—	
	産業装置	シリンドラ自然降下量	Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—	
				ブーム (1) シリンドラ	mm	—	1.5 以下	1.5 以下	1.5 以下
				ブーム (2) シリンドラ	mm	—	1.5 以下	1.5 以下	1.5 以下
				ブーム (3) シリンドラ	mm	—	1.5 以下	1.5 以下	1.5 以下
				ブーム (4) シリンドラ	mm	—	1.5 以下	1.5 以下	1.5 以下
				ブーム (5) シリンドラ	mm	—	—	—	—
		ブーム装置	(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min)	(—)	(10)	(10)	(10)	
				[図面No.]	(—)	(—)	(—)	(—)	
				[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]			
ブーム (1) 伸び				sec	—	60±10	90±10	65±10	
縮み				sec	—	60±10	90±10	65±10	
ブーム (2) 伸び				sec	—	70±10	130±10	85±10	
☆ブームシリンドラ作動時間	縮み	sec	—	70±10	130±10	85±10			
		ブーム (3) 伸び	sec	—	65±10	105±10	80±10		
		縮み	sec	—	65±10	105±10	80±10		
		ブーム (4) 伸び	sec	—	35±10	90±10	45±10		
		縮み	sec	—	35±10	90±10	45±10		
		ブーム (5) 伸び	sec	—	—	45±10	—		
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	MPa	(—)	(2620)	(2610)	(2620)		
			水圧	(—)	(50±10)	(50±10)	(50±10)		
			飛距離	—	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]		
			空圧機	MPa	—	—	—	—	
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
				(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
	(作動油温度)	(℃)		(—)	(—)	(—)	(—)		

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

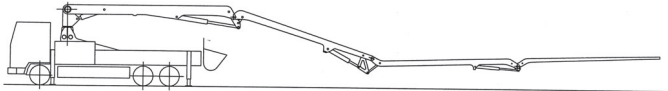
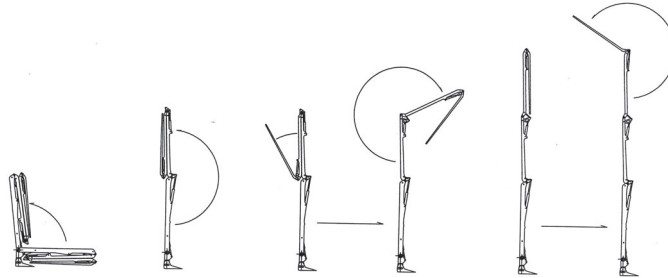
[illegible]

プツマイスタージャパン

適用範囲		モデル名		BSF2110HP	BSF28-4.16H	BSF46-5.16H	BSF33-4.16H	
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁	—
			最大吐出量	m ³ /h	106(69)	160(108)	160	106(108)
			最大吐出圧力	MPa	15(22)	8.5(13)	8.5	8.5(13)
		7"φ最大地上高	m	—	28	46	33	
		適用号機		210110244～	214403435～	210110249～	214403439～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	36±1	36±1	36±1	36±1	
		弁シリンダ油圧	MPa	15±1	15±1	15±1	15±1	
		かくはんモータ油圧	MPa	12±1	12±1	12±1	12±1	
		ブーム油圧	MPa	—	35±1	35±1	35±1	
		ACC ガス封入圧力	MPa	9±0.5	9±0.5	9±0.5	9±0.5	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2585)	(2620)	(2610)	(2620)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1720±50)	(1720±50)	(1720±50)	(1720±50)	
	(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)		
車体・安全装置	☆旋回ベアリング 取付けボルトの 締め付け	外輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	—	—	300Nm+120°	300Nm+120°	
		内輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	—	—	300Nm+120°	300Nm+120°	
		旋回ボルトの交換基準	年	—	—	注 2	注 2	
	☆旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	—	100±15	170±15	100±15	
		(旋回作動角度)	(度)	—	(360)	(360)	(360)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	—	(2620)	(2610)	(2620)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	—	(1580±50)	(1720±50)	(1580±50)	
		(作動油温度)	(℃)	—	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
	アウトリガー 自然伸縮量	シリンダ	各垂直シリンダ	mm	1.0 以下	1.0 以下	1.0 以下	1.0 以下
		(測定時間) (作業装置姿勢)	(min) [図面 No.]	(10) [図 No. —]	(10) [図 No. —]	(10) [図 No. —]	(10) [図 No. —]	
特記事項				注 2： 旋回ベアリング取付ボルトの中で緩み、折損、脱落がある場合は、そのボルトと両隣各 2 本のボルトを交換する。また交換する際は指定する回転角締結法に従うこと。				

コンクリートポンプ車

[illegible]

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブームシリンダ ー 自然降下		図-1 ブームシリンダー自然降下量測定姿勢 (下図参照) 
ブーム作動速度		図-2 ブーム作動速度測定姿勢  ブーム (1) ブーム (2) ブーム (3) ブーム (4) ブーム (4) を少し開いて行う (リンクとの干渉を避ける為) ブーム (4) を横か開いたところからスタート (リンクとの干渉を避ける為)

--

ベトンテック(エヴァダイム)

適 用 範 囲		モ デ ル 名		ECP28ZX-1611	ECP30ZX-1815	ECP36ZX-1815	ECP43CX-5		
		主仕様	吸 吐 弁 型 式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	
			最大 吐 出 量	m ³ /h	110(70)	157(106)	157(106)	157	
			最大 吐 出 圧 力	MPa	8.5(11.5)	8.7(13)	8.7(13)	8.5	
			アーム最大地上高	m	27.6	29.2	35.1	42.1	
		適 用 号 機							
区 分	検 査 箇 所	検 査 項 目 (条件)	単 位	検 査 基 準 値					
業 装 置	送 圧 装 置	ボ ン プ 本 体	ピストンストローク回数	回／min	27	35	35	30	
			ローター回転数	回／min	—	—	—	—	
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作 動 油 温 度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(2460) (1650±50) (50±10)	(2610) (1750±50) (50±10)	(2610) (1750±50) (50±10)	(2655) (1750±50) (50±10)	
		攪 拌 装 置	回 転 速 度 チェーンのたわみ	min ⁻¹ mm	35±1	35±1	35±1	35±1	
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作 動 油 温 度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(2460) (1650±50) (50±10)	(2610) (1750±50) (50±10)	(2610) (1750±50) (50±10)	(2610) (1750±50) (50±10)	
			真 空 ポ ン プ	圧 力 設 定 値 (設定値到達時間)	Pa (min)	()	()	()	
		圧力降下許容値 (保持 時間)		Pa (min)	()	()	()		
		Vベルトのたわみ		mm					
		ブ ー ム 装 置	シリンダー 自然降下量	ブーム (1) シリンダー	mm	1.5	1.5	1.5	1.5
				ブーム (2) シリンダー	mm	1.5	1.5	1.5	1.5
				ブーム (3) シリンダー	mm	1.5	1.5	1.5	1.5
				ブーム (4) シリンダー	mm	1.5	1.5	1.5	1.5
	ブーム (5) シリンダー			mm				1.5	
	(測 定 時 間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)			(min) [図面 No.]	(10) (-) [図 No. 1]	(10) (-) [図 No. 1]	(10) (-) [図 No. 1]	(10) (-) [図 No. 1]	
	☆ ブームシリンダー 作動時間		ブ ー ム (1) 伸 び	sec	75±15%	60±15%	75±15%	90±15%	
			縮 み	sec	75±15%	60±15%	75±15%	90±15%	
			ブ ー ム (2) 伸 び	sec	98±15%	100±15%	98±15%	105±15%	
			縮 み	sec	98±15%	100±15%	98±15%	105±15%	
			ブ ー ム (3) 伸 び	sec	91±15%	90±15%	68±15%	95±15%	
			縮 み	sec	91±15%	90±15%	68±15%	95±15%	
	洗 浄 装 置	水 ポ ン プ (配管洗浄用)	吐 出 圧 力	MPa	3	3	3	3	
			油 圧 水 圧 飛距離	MPa m					
			空 圧 機	吐 出 圧 力	MPa	3	3	3	3
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作 動 油 温 度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(2460) (1650±50) (50±10)	(2610) (1750±50) (50±10)	(2610) (1750±50) (50±10)	(2610) (1750±50) (50±10)	

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

ECP47CX-5	ECP26ZX	ECP37ZX					
揺動弁	揺動弁	揺動弁					
160	125	150					
8.5	7.0	8.5					
46.1	25.2	36.3					
検 査 基 準 値							
30	35	35					
-	-	-					
(2655)	(2235)	(2655)					
(1750±50)	(1500±50)	(1750±50)					
(50±10)	(50±10)	(50±10)					
35±1	35±1	35±1					
(2610)	(2235)	(2655)					
(1750±50)	(1500±50)	(1750±50)					
(50±10)	(50±10)	(50±10)					
1.5	1.5	1.5					
1.5	1.5	1.5					
1.5	1.5	1.5					
1.5	1.5	1.5					
1.5	1.5	1.5					
(10)	(10)	(10)					
(-)	(-)	(-)					
[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]					
105±15%	70±15%	75±15%					
105±15%	70±15%	75±15%					
105±15%	70±15%	98±15%					
105±15%	70±15%	98±15%					
100±15%	95±15%	91±15%					
100±15%	95±15%	91±15%					
60±15%	55±15%	46±15%					
60±15%	55±15%	46±15%					
40±15%							
40±15%							
(2610)	(2610)	(2610)					
(50±10)	(50±10)	(50±10)					
[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]					
3	3	3					
3	3	3					
(2610)	(2610)	(2610)					
(1750±50)	(1750±50)	(1750±50)					
(50±10)	(50±10)	(50±10)					

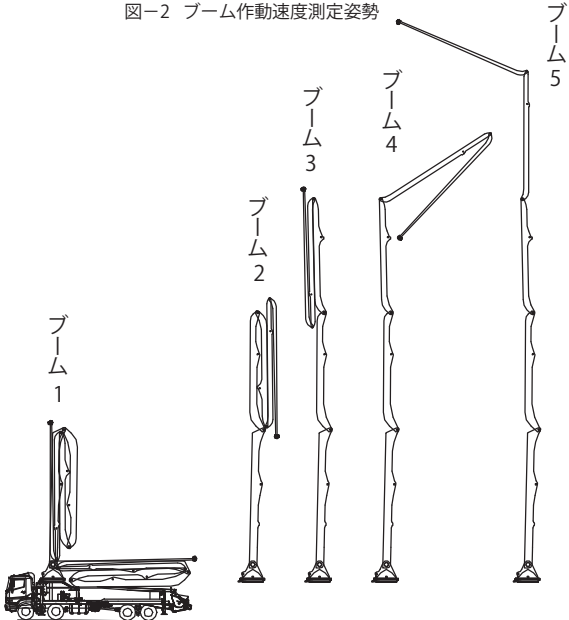
ベトンテック(エヴァダイム)

適 用 範 囲		モ デ ル 名		ECP28ZX-1611	ECP30ZX-1815	ECP36ZX-1815	ECP43CX-5
		主仕様	吸 吐 弁 型 式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最 大 吐 出 量	m ³ /h	110(70)	157(106)	157
			最 大 吐 出 圧 力	MPa	8.5(11.5)	8.7(13)	8.5
			アーム最大地上高	m	27.6	29.2	42.1
		適 用 号 機					
区 分	検 査 箇 所	検 査 項 目 (条件)	単 位	検 査 基 準 値			
油 圧 装 置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	36±2	36±2	36±2	36±2
		弁シリンダー油圧	MPa	19±1	19±1	19±1	19±1
		攪拌モータ油圧	MPa	16±1	16±1	16±1	16±1
		プ ー ム 油 圧	MPa	35±1.5	35±1.5	35±1.5	38±1.5
		ACC ガス封入圧力	MPa	9±0.5	9±0.5	9±0.5	9±0.5
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2460)	(2610)	(2610)	(2610)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1650±50)	(1750±50)	(1750±50)	(1750±50)
		(作 動 油 温 度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
車 体 ・ 装 置 回 転 安 全 装 置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締め付け	外輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m				
		内輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m				
		旋回ボルトの交換基準	年				
	☆ 旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	140±15%	120±15%	140±15%	160±15%
		(旋回作動角度)	(度)	(360)	(360)	(360)	(360)
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2460)	(2610)	(2610)	(2610)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1650±50)	(1750±50)	(1750±50)	(1750±50)
		(作 動 油 温 度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
	アウ トリ ガ ー	各垂直シリンダー	mm	1	1	1	1
		(測 定 時 間)	(min)	(10)	(10)	(10)	(10)
	自然伸縮量	(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]
特 記 事 項							

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

ECP47CX-5	ECP26ZX	ECP37ZX					
揺動弁	揺動弁	揺動弁					
160	125	150					
8.5	7.0	8.5					
46.1	25.2	36.3					
検 査 基 準 値							
36±2							
19±1							
16±1							
38±1.5							
9±0.5							
(2655)							
(1750±50)							
(50±10)							
220±15%	100±15%	140±15%					
(360)	(360)	(360)					
(2655)	(2235)	(2655)					
(1750±50)	(15000±50)	(1750±50)					
(50±10)	(50±10)	(50±10)					
1	1	1					
(10)	(10)	(10)					
[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]					

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム シリンダー 自然降下	図-1 ブームシリンダー自然降下量測定姿勢 (下図参照)	
ブーム作動速度	図-2 ブーム作動速度測定姿勢	

--

適用範囲		モデル名		HCP4Z37	HCP5Z34	HCP4Z26	
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大吐出量	m ³ /h	150	150	90/60
			最大吐出圧力	MPa	87	87	70/105
		アーム最大地上高	m	36.5	33.5	25.2	
		適 用 号		機	HG37001～	HG34-001～	HG26D-001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	32	33	34
			ローター回転数	回/min			
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)			
		攪拌装置 かくはん装置	回転速度 チェーンのたわみ	min ⁻¹ mm	40±5 N/A	40±5 N/A	40±5 N/A
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	2600±50 1750±50 55±10	2600±50 1750±50 55±10	2600±50 1700±50 55±10
			真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	Pa (min)	N/A	N/A
	圧力降下許容値 (保持時間)	Pa (min)					
	Vベルトのたわみ	mm		N/A	N/A	N/A	
	産業装置	シリンドー 自然降下量	ブーム (1) シリンダー ブーム (2) シリンダー ブーム (3) シリンダー ブーム (4) シリンダー ブーム (5) シリンダー	mm mm mm mm mm	1.5mm以下	1.5mm以下	1.5mm以下
			(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) (-) [図 No1.]	(10) (-) [図 No1.]	(10) (-) [図 No1.]
			ブーム (1) 伸び 縮み	sec sec	100±10 90±10	100±10 80±10	60±10 70±10
		☆ブームシリンドー 作動時間	ブーム (2) 伸び 縮み	sec sec	120±10 110±10	100±10 80±10	65±10 60±10
			ブーム (3) 伸び 縮み	sec sec	120±10 110±10	110±10 90±10	65±10 60±10
			ブーム (4) 伸び 縮み	sec sec	90±10 70±10	95±10 80±10	35±10 30±10
			ブーム (5) 伸び 縮み	sec sec		50±10 50±10	
(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)			(min ⁻¹) (℃) [図面No.]	(2600±50) (55±10) [図 No2.]	(2533±50) (55±10) [図 No2.]	(2533±50) (55±10) [図 No2.]	
洗浄装置			水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力 油圧 水圧 飛距離	MPa MPa m	200±3 15~18 20	200±3 15~18 20
		空圧機	吐出圧力	MPa	7	7	7
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(2600±50) (1700±50) (55±10)	(2600±50) (1700±50) (55±10)	(2600±50) (1700±50) (55±10)	

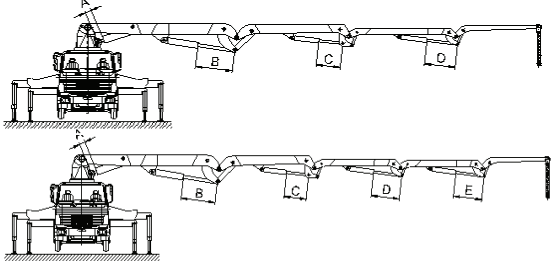
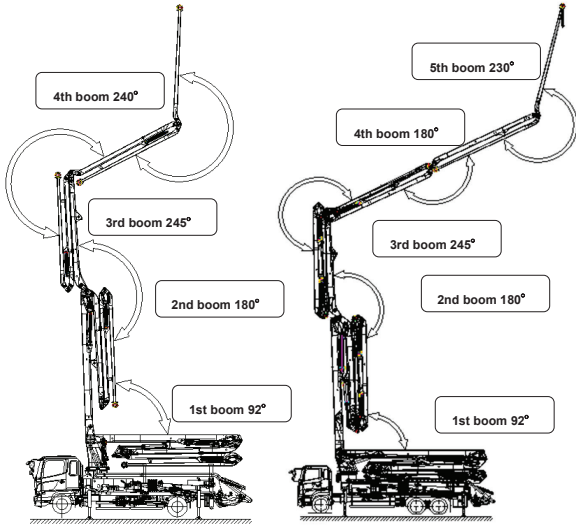
[illegible]

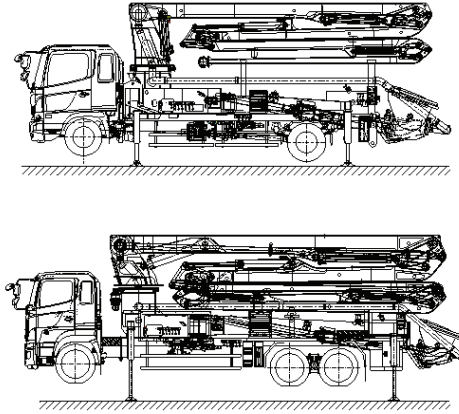
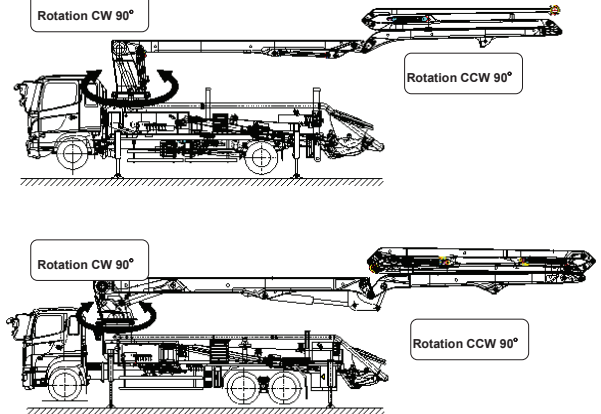
適用範囲		モデル名		HCP4Z37	HCP5Z34	HCP4Z26	
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大吐出量	m ³ /h	150	150	90/60
			最大吐出圧力	MPa	8.7	8.7	7.0/10.5
		ブーム最大地上高	m	36.5	33.5	25.2	
		適用号機		HG37001～	HG34-001～	HG26D-001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	350+0/-5	350+0/-5	350+0/-5	
		弁シリンダー油圧	MPa	200+0/-5	200+0/-5	200+0/-5	
		攪拌モーター油圧	MPa	200+0/-5	200+0/-5	200+0/-5	
		ブーム油圧	MPa	350+0/-5	350+0/-5	350+0/-5	
		ACC ガス封入圧力	MPa	190+0/-5	190+0/-5	190+0/-5	
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	2600±50	2600±50	2533±50		
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	1750±50	1750±50	1700±50		
(作動油温度)	(℃)	55±10	55±10	55±10			
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締付け	外輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	1210N・m	1210N・m	736N・m	
		内輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	1210N・m	1210N・m	736N・m	
		旋回ボルトの交換基準	年	3年	3年	3年	
	☆ 旋回作動速度	旋回速度	sec	185±10	185±10	140±10	
		(旋回作動角度)	(度)	(370°)	(370°)	(370°)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2600)	(2600)	(2533)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1750)	(1750)	(1750)	
		(作動油温度)	(℃)	(55±10)	(55±10)	(55±10)	
	アウトリガー	シリンダー 自然伸縮量	各垂直シリンダー	mm	2	2	2
			(測定時間) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) [図 No3.]	(10) [図 No3.]	(10) [図 No3.]
特記事項				1) 旋回ベアリング取付けボルトの中で緩み(新車基準トルク以下)がある場合は、そのボルトと両隣各2本の合計5本のボルトを交換する。また、1本でも折損脱落がある場合は外輪、内輪ともすべてのボルトを交換する。 2) ブーム装置については比例制御バルブ式に付き測定変更可能な為表示時間は通常使用時間参考値。			

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

[illegible]

赤 城 産 業

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム シリンダー 自然降下	図-1 ブームシリンダ自然降下量測定姿勢 	
ブーム作動速度	図-2 ブーム作動速度計測姿勢 	

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
アウトリガシリンダー 自然伸縮	ブームを収納状態にし、 アウトリガーを張り出し、 15 分間の自然伸縮量を 計測する。	図-3 アウトリガシリンダ自然伸縮計測姿勢 
旋回作動速度	図-4 旋回作動速度計測姿勢 	

コンクリートポンプ車検査・整備基準値表

平成 12 年 3 月	初版発行
平成 18 年 1 月	改訂 A 版発行
平成 23 年 3 月	改訂 B 版発行
平成 28 年 3 月	改訂 C 版発行
令和 3 年 3 月	改訂 D 版発行

発行 公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町 3 丁目 7 番 1 号
(ニュー九段ビル 9 階)

電 話 03-3221-3661

FAX 03-3221-3665

URL <http://www.sacl.or.jp>

